

PC/AT互換機対応CD起動ファイルサーバOS

YFS-CD

yano File Server Ver.2

User's Manual

ご注意

- 1) 本書は、ヤノ電器株式会社の著作物です。当社の著作物の一部または全部を、当社に無断で複製し、複写し、転載し、改変することは、法律で禁止されています。
- 2) 本書は、改良のために内容を予告せずに、変更する場合がありますのでご了承ください。
- 3) 本書に記載のない、あるいは本書に記載された内容と異なる操作によって生じた、どのような事故、損害に関しても、当社では責任を負いかねます。
- 4) 本書の内容について、ご不審な点や、お気付きの点がございましたら、当社カスタマサポートまでご一報くださいますようお願い申し上げます。

PC/AT 互換機対応 CD 起動ファイルサーバ OS

YFS-CD ユーザーズマニュアル

はじめに

このたびは、弊社製 CD 起動ファイルサーバ OS **YFS-CD** をお買い上げいただきありがとうございます。**YFS-CD** は、この1枚でファイルサーバが作れるシステム CD です。

このマニュアルを読んで **YFS-CD** の設定を行ってください。なお、このマニュアルでは、一部を除き「**YFS-CD**」のことを「本製品」と記述しています。なお、このマニュアルに記載されている画面上の表示等は、お使いのコンピュータのシステムの設定やバージョンによって、見え方が異なる場合があります。

マニュアルの本文中の記号について



操作上、非常に大切なことを説明しています。注意事項を守らないと、重大なトラブルが発生し、データが失われることがあります。



操作にあたって気にとめていただきたいことを説明しています。操作の参考にしてください。

目次

Chapter 1 準備

1. 本製品の概要について	6
・ 本製品の特長	6
・ 本製品の機能について	7
・ 動作環境 / サーバ	9
・ 動作環境について	10
2. お使いになる前に	11
・ ご使用になる時の注意事項	11

Chapter 2 使ってみましょう

1. 作業を始める前に	14
・ 本製品の使い方	14
Step 1 サーバの準備をする	15
・ BIOS を設定する	15
・ CD から起動する	17
・ IP アドレスを確認する	18
Step 2 ネットワークを設定する	19
・ Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でお使いの場合	19
・ Mac OS X10.1 ~ でお使いの場合	20
・ Windows 95 / 98 / Me でお使いの場合	21
・ Windows NT4.0 でお使いの場合	24
・ Windows 2000 / XP でお使いの場合	25
Step 3 HD ドライブを設定する	27
Step 4 ライセンスキーを登録する	30

Step 5 サーバに接続する	31
・Mac OS 7.6 ~ 9.2.2 の場合	31
・Mac OS X 10.1 ~ の場合	32
・Windows の場合	34
Step 6 既存ネットワークに導入する	36
・IP アドレスを変更する	36
2. サーバを終了する	38

Chapter 3 設定メニュー

1. 設定メニューについて	40
・設定メニューに接続する	40
2. ネットワーク設定	41
・基本設定	41
・詳細設定	43
3. 共有設定	45
・ユーザー登録・設定	45
・グループ登録・設定	47
・フォルダ作成・設定	49
4. デバイス設定	52
・プリンタ	52
・無停電電源装置 (UPS)	54
5. サーバー管理	57
・データ管理	57
・ステータス	63
・シャットダウン	64

Chapter 4 特別メニュー

1. 特別メニューについて	68
・ 特別メニューに接続する	68
2. メモリーモードについて	70
・ 初期設定	70
・ サーバー管理	72
3. ディスクモードについて	74
・ 初期設定	74
・ サーバー管理	75

Chapter 5 付 録

Appendix1 こんな時には	82
Appendix2 サポートとサービスのご案内	83
・ カスタマサポートのご案内	83
・ オンライン情報提供サービスのご案内	83

Chapter

1

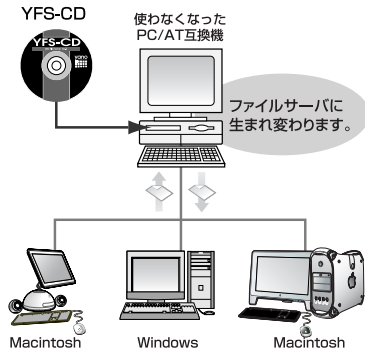
準 備

Chapter 1では、本製品を使用する前に、知っておいて
いただきたいことを説明しています。

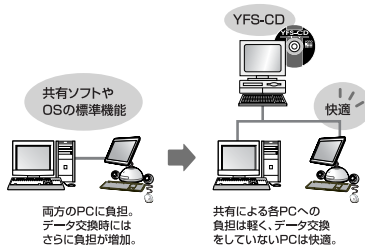
本製品の特長

CD から起動するだけで簡単にファイルサーバを構築

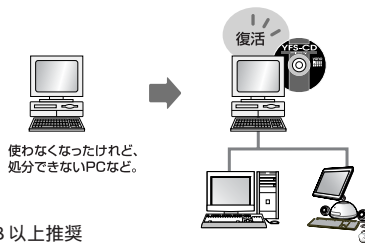
PC/AT互換機に本製品を入れてシステムを起動するだけで、ファイルサーバを簡単に構築できる画期的なソフトウェアです。
また、MacintoshとWindowsの両方からアクセス可能で、混在している環境でもスムーズにデータ交換を行えます。



もっと快適な、共有環境を実現したい
共有ソフトやOSの標準機能を利用したファイル共有の場合、作業中のコンピュータに負担がかかります。本製品を使ってファイルサーバを設定すると、これらの負担が全てサーバに集約されるため、快適な共有環境が実現できます。

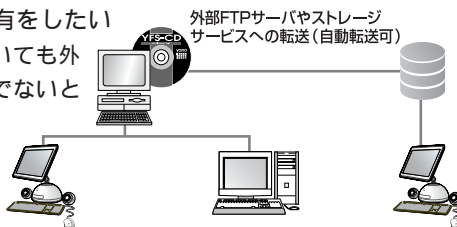


古いコンピュータも、有効に使いたい
本製品を使えば、古くて使い途のないコンピュータをデータ交換、共有、一時保管などに便利なファイルサーバとして再利用でき、地球資源の有効活用にもなります。新規にサーバ用マシンを購入しなくてもサーバの増設ができます。



CPU：Pentium以降、メモリー：16MB以上必須、32MB以上推奨

取引先や他の事業所とファイル共有をしたい
事業所内にはLAN環境が構築されていても外部とのデータの共有、交換はスムーズでないという場合にも、FTPに対応し便利な機能が搭載された本製品を使えば、外部とのデータの共有、交換も簡単です。



クライアント数に応じたライセンス料などは不要
本製品は、クライアント数に応じたライセンス料などは不要です。

クライアントマシンの Web ブラウザから簡単にサーバー管理が可能
サーバー管理はクライアントマシン (Macintosh / Windows のどちらも可) の Web ブラウザから簡単に行え、必要に応じて細かな設定も可能です。
また、システム起動時に PC/AT 互換機の環境をチェックして、必要なドライバは自動的に組み込みます。システムを起動してからファイルサーバとして使用できるまでおよそ 10 分 (当社調べ) です。

本製品の機能について

本製品には以下の機能が搭載されています。

ファイル共有機能

AFP (Macintosh の共有機能) と NetBIOS (Windows の共有機能) と FTP (File Transfer Protocol) に対応。ネットワークを介して共有フォルダにファイルを保管し、Macintosh や Windows が混在した環境でもファイルを共有することができます。

プリンタ共有機能 (Windows のみ)

ローカル (パラレル) およびネットワーク (TCP/IP) 接続のプリンタを Windows から共有することができます。Macintosh からはプリンタを共有することはできません。

アクセス管理機能

共有フォルダ毎にアクセス権を設定することができます。設定できるアクセス権は、そのフォルダへのアクセスを許可するユーザとグループ、そして許可するアクセスレベル (読み出し / 書き込み) です。

フィルタリング機能

不正なアクセスを防ぐために、ルータ経由の接続を拒否できるフィルタリング機能を搭載。プロトコル毎に設定できるので目的にあった設定にカスタマイズできます。ファイアーウォールやブロードバンドルータでのセキュリティに、このフィルタリングを加え二重に安心です。

簡単設定機能

Web ブラウザを使って簡単に設定できるツール「YFS Controller」を搭載。DHCP クライアントにも対応していますので、ネットワーク内に DHCP サーバがあれば自動的にネットワーク設定を行います。また、ユーザ / グループ一括登録機能も搭載。ユーザ名、パスワード、所属グループをリストにして取り込むことができます。

ローカルコピー機能

共有フォルダを自動的に複製（ローカルコピー）することができます。

リモートコピー機能

共有フォルダをFTPサーバに自動で転送（リモートコピー）することができます。万が一の災害の時にも別のFTPサーバのファイルを利用することができるので安心です。また、YFS-CDサーバを2台作ってお互いにバックアップすれば簡易的なクラスタリングシステムになります。

オートシャットダウン機能

シリアルケーブル（RS-232C）で停電信号が得られる無停電電源装置（UPS）であればメーカーを問わず対応が可能です。停電時には自動的にシャットダウンしますので、落雷などで突然の停電が起こってもデータやハードウェアの損傷を防ぐことができます。

当社ではAPC社製 Smart-UPS を推奨します。

動作環境 / サーバ

本製品は、下記のシステムに対応しています。

本体 < 必須 >	PC/AT 互換機 1
CPU < 必須 >	<ul style="list-style-type: none"> ・ Intel Pentium I / MMX / II / III / 4 / Celeron ・ AMD K5 / K6 / K6-2 / K6-III / Duron (Athlon は不可)
メモリ < 必須 >	16MB 以上必須 / 32MB 以上推奨
ネットワークカード < 必須 >	PCI タイプ (ISA、EISA は不可)
CD ドライブ < 必須 >	ATAPI タイプのみ (SCSI、USB は不可)
HD ドライブ < 必須 >	IDE または SCSI タイプ (USB、FireWire は不可)
FD ドライブ	34 ピンタイプ (USB は不可) CD ドライブからシステム起動できない場合に使用します。
SCSI カード	PCI タイプ (ISA、EISA は不可)
キーボード	PS/2 タイプ (USB は不可) BIOS の設定やトラブル時の状況確認に使用します。
モニタ	VGA(640x480) BIOS の設定やトラブル時の状況確認に使用します。

1 CD ドライブからシステム起動が可能なものを推奨します。



本製品は BigDrive (137GB 以上の HD ドライブ) に対応しています。ただし、サーバにする PC/AT 互換機の制限によっては大容量の HD ドライブに対応していない場合もありますのであらかじめ確認しておいてください。

動作環境について

クライアント環境（ユーザ）
ファイル共有等のサービスを利用するクライアントです。

Macintosh	Mac OS 7.6 ~ 9.2.2 / Mac OS X 10.1 以降 ¹
Windows	Windows 95 / 98 / 98 SE / Me / NT 4.0(SP3 以降) / 2000 / XP

¹ Open Transport 1.1 ~ が必要です。

クライアント環境のコンピュータは、ネットワークポートを装備している必要があります。

クライアント環境（管理者）
Web ブラウザによりサービスを設定します。

Macintosh	<ul style="list-style-type: none"> ・対応 OS : Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 / Mac OS X 10.1 以降 ・Web ブラウザ : Internet Explorer 5.0 以降 Netscape 4.7 以降 Safari 1.0
Windows	<ul style="list-style-type: none"> ・対応 OS : 95 / 98 / 98 SE / Me / NT 4.0(SP3 以降) / 2000 / XP ・Web ブラウザ : Internet Explorer 5.0.1 以降 Netscape 4.7.3 以降

Dynamic HTML を使用しています。対応した Web ブラウザを使用してください。
Java Script と Cookie を使用しています。Java Script を利用できる設定にてご使用ください。

ご使用になる時の注意事項

本製品をご使用になる場合は、下記の点に注意してください。

サーバに使用する PC/AT 互換機について

サーバに使用する PC/AT 互換機は、「YFS Controller」によりハードディスクを初期化する必要があります。ハードディスクに保存されているデータはすべて消去されますので、事前に確認のうえ、必要に応じてデータのバックアップを行ってください。

また、ファイルサーバーとして運用中は、他の作業を行うことはできません。

アクセス権の設定について

「YFS Controller」で作成できる第1階層のフォルダにのみアクセス権の設定ができます。第1階層のフォルダに含まれるサブフォルダにはアクセス権の設定はできません。

使用可能なファイル名について

本製品では、ファイル名の長さや使用できる文字について、基本的に制約はありません。それぞれのクライアントの制限内で使用することが可能です。ただし、Mac OS X は、本来 255 バイトまでの文字列をファイル名に使用できますが、サーバにファイルをコピーする場合、31 バイトを超える文字列を使用することはできません。

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 では、最大 31 バイトまでの文字列をファイル名に使用できますが、「:」は使用できません。

Windows では、最大 255 バイトまでの文字列をファイル名に使用できますが、「¥/?*" <>|」などの文字は使用できません。

また、Macintosh から Windows にコピーしたファイルの名前に「¥/?*" <>|」などの文字が含まれていた場合、SFN 形式で表示されます。

例えば「file_9/1*1.txt」の場合は「FILE _XB.TXT」になります。

逆に、Windows から Macintosh にコピーしたファイルの名前が 31 バイトを超えていた場合、Macintosh では表示できません。

ファイルサイズについて

サーバーにコピーできる単一ファイルの最大容量は 2GB です。

セキュリティについて

本製品では、Web (80,901,902)、AFP (518,548)、NetBIOS (137 ~ 139,445)、FTP (20,21)、LPR (515)の各サーバサービスを提供しています。また、ユーザ認証はIDとパスワードによって行います。内部や外部からの不正アクセスで被害を受けないよう、ファイヤーウォールやブロードバンドルータを別途ご用意のうえ、安全を確保し、パスワードも厳重に管理するなどセキュリティには十分注意を払ってください。

()内はポート番号

スリープ機能について

クライアントにMacintoshをお使いの場合、サーバに接続している状態でスリープすると、一定時間で強制的に接続を解除します。Macintoshのスリープ機能を解除するか、スリープする前に共有を解除(アンマウント)するようにしてください。

Chapter

2

使ってみましょう

Chapter 2では本製品の基本的な使用方法を Step で説明しています。お使いのOSやサーバーの設定によって作業順序が異なります。お使いの設定の内容により、作業を進めてください。

本製品の使い方

手順は次ページからの Step の順番です。Step の内容は以下のとおりです。

Step 1	サーバを起動する	P 15
Step 2	ネットワークを設定する	P 19
Step 3	HD ドライブを設定する	P 27
Step 4	ライセンスキーを登録する	P 30
Step 5	サーバに接続する	P 31
Step 6	既存ネットワークに導入する	P 36

本製品は、ネットワーク環境（DHCP サーバの有無）と使用するクライアントにより設定の手順が異なります。ご自分の環境に合ったタイプに沿って作業を進めてください。

	クライアント(OS)	ネットワーク	手 順
タイプ A	Windows	DHCPサーバあり	Step 1, Step 3 ~ 5
タイプ B	Macintosh	DHCPサーバあり	Step 1, Step 3 ~ 5
タイプ C	Windows Macintosh	DHCPサーバなし	Step 1 ~ 6

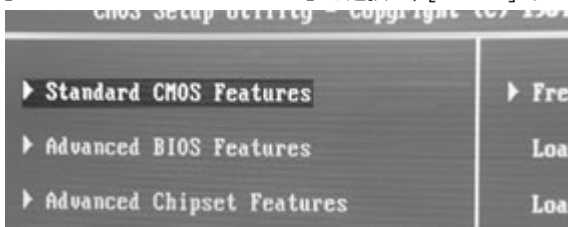
BIOS を設定する

PC/AT 互換機の BIOS 設定により、CD ドライブからシステム起動するように変更します。またサーバ稼働中の誤動作を防ぐため、キーボードを使用しないように変更します。ここでは Phoenix 社の Award BIOS を例に説明します。

ここでいう「サーバ」とは、本製品を使ってサーバにする PC/AT 互換機を指します。

1 PC/AT 互換機の電源を入れます。すぐ画面下に「Press DEL to enter SETUP」と表示されますので、[DEL (Delete)] キーを 1 回押してください。Setup Utility が起動します。

2 キーボードを使用しない設定にします。
【Standard CMOS Features】を選択し、[Enter] キーを押します。

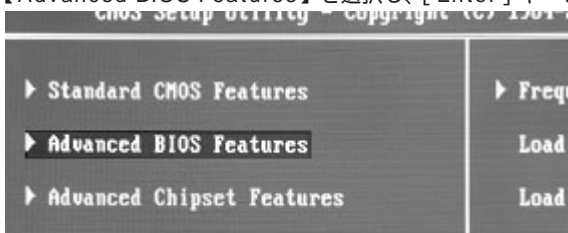


3 下図の画面で【Halt On】を「All, But Keyboard」に変更します。

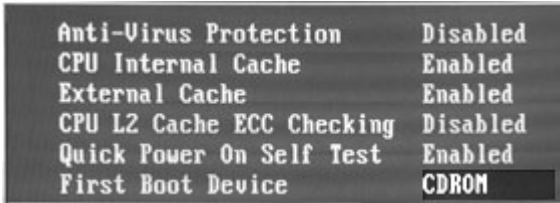


・ここで「All, But Keyboard」が選べない場合は、「No Errors」に変更してください。

4 CD 起動の設定を行います。
【Advanced BIOS Features】を選択し、[Enter] キーを押します。



- 5** 下図の画面で【First Boot Device】を「CDROM」に変更します。(ここで「CDROM」が選べない場合は、「A〔Floppy)〕に変更してください。)



- 6** 設定が完了したら [Esc (Escape)] キーを 1 回押してください。最初の画面に戻りますので【Save & Exit Setup】を選択し、[Enter] キーを押します。



- 7** 「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)? Y」と表示されますので [Y] キーを押します。



これで BIOS の設定が完了しました。次ページの「CD から起動する」に進んでください。

CD から起動する

サーバにするPC/AT 互換機の電源をオンにし、本製品をCDドライブに入れCD から起動します。下記の手順で行ってください。CD から起動しない場合は、再度BIOS の設定を確認してください。

ここでいう「サーバ」とは、本製品を使ってサーバにするPC/AT 互換機を指します。

- 1** PC/AT 互換機の電源をオンにします。
- 2** YFS-CD を入れます。
- 3** 正常に起動するとサーバからピーブ音が 3 回もしくは 5 回鳴ります。
ピーブ音が鳴らない場合は、再度 BIOS の設定を確認してください。

FD から起動する

CD から起動できない場合は、YFS-CD の起動用FD から起動します。
下記の手順に従ってください。

- 1** PC/AT 互換機の電源を入れ、システムを起動します。
- 2** PC/AT 互換機にフォーマット済みの 1.44MB (2HD) FD と 本製品 (CD) を入れます。
- 3** 【マイコンピユータ】からCDを開き、「Rawrite(.exe)」をダブルクリックします。
- 4** 下図Aのように「boot.img」と入力して [Enter] キーを押します。
次に、下図Bのように「a (FDの場所)」と入力して [Enter] キーを押します。
下図Cでは [Enter] キーのみ押します。
FD に必要なファイルがコピーされます。しばらくするとコピーが終了します。



- 5** 作成された FD を抜き、システムを終了します。
- 6** 作成した起動用 FD をサーバにする PC/AT 互換機の FD ドライブに挿入します。
- 7** サーバにする PC/AT 互換機の電源をオンにし、YFS-CD を入れます。
- 8** 正常に起動するとサーバからピープ音が 3 回もしくは 5 回します。
ピープ音が鳴らない場合は、再度 BIOS の設定を確認してください。

IP アドレスを確認する

サーバに割り当てられた IP アドレスを確認します。以下の手順に従ってください。
(タイプは、P14 でご確認ください。)

タイプ B サーバに割り当てられた IP アドレスをここで必ず確認してください。

- 1** サーバに割り当てられている IP アドレスを確認するために、モニタとキーボードを接続します。
- 2** サーバを起動します。
起動が完了すると画面に「yfs>」と表示されますので、「config」と入力し[Enter]キーを押します。
- 3** メニューが表示されたら、「IP アドレスの変更」を選択し、[Enter]キーを押します。
- 4** 「現在の IP アドレス」が表示されます。確認し、メモをしておいてください。

2 ネットワークを設定する

クライアント（管理者）のネットワーク設定を変更します。

お使いになるOSに合わせて設定を行ってください。（タイプは、P14でご確認ください。）

タイプ A , **タイプ B** の場合...Step 3 に進んでください。

タイプ C の場合...ネットワークの設定を行います。お使いの OS に合わせて Step 2 の作業を行ってください。

タイプ C

サーバの IP アドレスには自動的に「192.168.0.250」が設定されます。
このサーバに接続するには、クライアントのネットワーク設定を例えば以下のよう
にしてください。

IP アドレス : 192.168.0.251

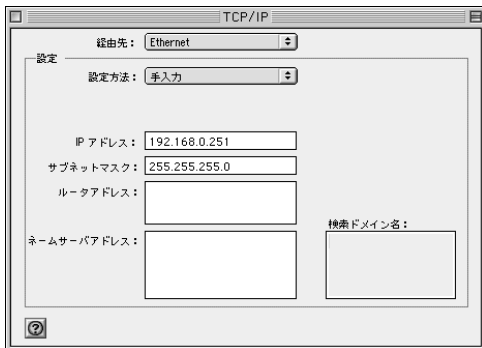
サブネットマスク : 255.255.255.0

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でお使いの場合

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でお使いの場合の TCP/IP の設定を行います。以下の手順に従って
ください。

1 【アップルメニュー】 【コントロールパネル】 【TCP/IP】を開きます。

2 経由先に【Ethernet】、設定方法に【手入力】を選択し、IP アドレス、サブネッ
トマスクを下図のように入力します。

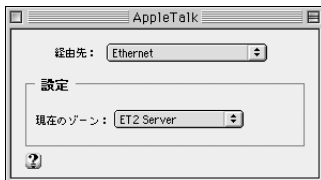


図の数値は入力例です。
この情報はネットワーク管理
者より入手してください。

3 設定が終了したら、クローズボックスを押します。設定を保存するメッセージが
表示されますので【保存】をクリックします。

4 AppleTalk の設定を確認します。

【アップルメニュー】 【コントロールパネル】 【AppleTalk】を開き、経路先に【Ethernet】を選びます。

**5** クローズボックスを押します。有効になっていない場合は、設定を保存するメッセージが表示されますので「保存」をクリックします。

Mac OS X 10.1 ~ でお使いの場合

Mac OS X 10.1 ~ でお使いの場合のTCP/IPの設定を行います。以下の手順に従ってください。

1 【アップルメニュー】 【システム環境設定】 【ネットワーク】を開き、「TCP/IP」タブをクリックします。**2** IP アドレスの設定を行います。

表示を【内蔵 Ethernet】、設定を【手入力】に選択し、IP アドレス、サブネットマスクを下図のように入力します。



図の数値は入力例です。
この情報はネットワーク管理者より入手してください。

- 3** 【AppleTalk】を押し、【AppleTalk 使用】にチェックを入れます。



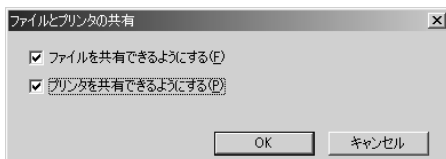
- 4** 設定が終了したら、【今すぐ適用】をクリックします。

Windows 95 / 98 / Me でお使いの場合

Windows 95 / 98 / Me でお使いの場合の TCP/IP の設定を行います。以下の手順に従ってください。

- 1** システムを起動し、【スタート】 【設定】 【コントロールパネル】 【ネットワーク】を開きます。

- 2** 【ネットワーク設定】タブの【ファイルとプリンタの共有...】を押すと「ファイルとプリンタの共有」ダイアログが現れます。
[ファイルを共有できるようにする]と「プリンタを共有できるようにする」にチェックを入れ、【OK】をクリックします。



- 3** 【ネットワーク設定】タブの【現在のネットワークコンポーネント】に「Microsoft ネットワーク共有サービス」が追加されていることを確認します。

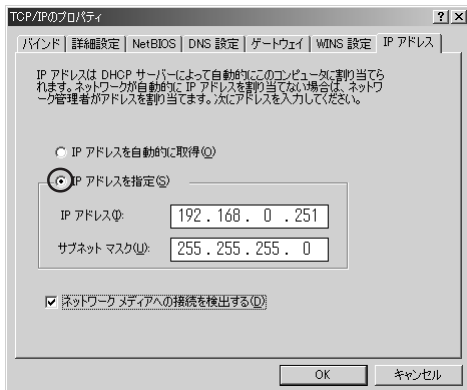


- 4** 【ネットワーク設定】タブの【現在のネットワークコンポーネント】で【TCP/IP->xxxxxx】を選択し、【プロパティ】をクリックします。



5 【TCP/IPのプロパティ】が表示されます。【IP アドレス】タブを選択します。

「IP アドレスを指定」を選択し、IP アドレス、サブネットマスクをそれぞれ入力します。



図の数値は入力例です。
この情報はネットワーク管理
者より入手してください。

6 【バインド】タブを選択し、「Microsoft ネットワーククライアント」と「Microsoft ネットワーク共有サービス」にチェックを入れ、【OK】をクリックします。

これで設定は終了です。

Windows NT 4.0 でお使い場合

Windows NT 4.0 でお使いの場合の TCP/IP の設定を行います。以下の手順に従ってください。

- 1 システムを起動し、Administrator 権限でログインします。
【スタート】 【設定】 【コントロールパネル】 【ネットワーク】を開きます。

- 2 【プロトコル】タブを選択し、【TCP/IP プロトコル】を選んで「プロパティ」をクリックします。



- 3 【Microsoft TCP/IP のプロパティ】が表示されます。【IP アドレス】タブをクリックします。【IP アドレスを指定する】を選択し、IP アドレス、サブネットマスクをそれぞれ入力します。設定できれば【OK】をクリックします。



図の数値は入力例です。
この情報はネットワーク管理者より入手してください。

Windows 2000 / XP でお使いの場合

Windows 2000 / XP でお使いの場合のTCP/IPの設定を行います。以下の手順に従ってください。

1 システムを起動し、Administrator 権限でログインします。
【スタート】 【設定】 【コントロールパネル】 【ネットワーク】を開きます。

2 【ローカルエリア接続】アイコンを右クリックし、サブメニューから【プロパティ】を選択します。

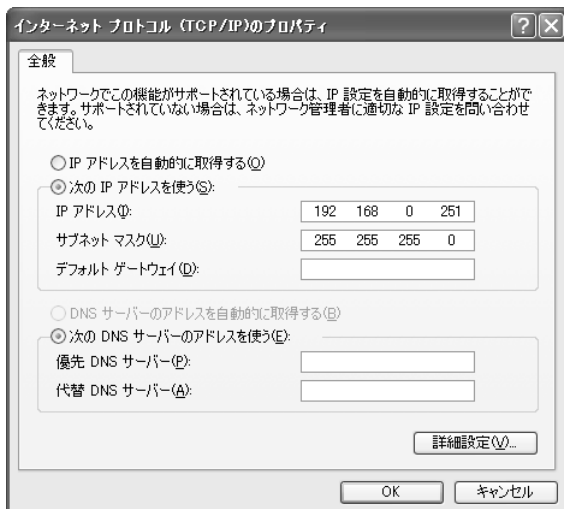
3 【ローカルエリア接続のプロパティ】が表示されます。

「Microsoft ネットワーク用クライアント」「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」「インターネットプロトコル (TCP/IP)」にチェックされていることを確認してください。



4 【インターネットプロトコル (TCP/IP)】を選択し、【プロパティ】をクリックします。

5 【インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ】が表示されます。【次の IP アドレスを使う】を選択し、IP アドレス、サブネットマスクをそれぞれ入力します。設定できれば【OK】をクリックします。



HD ドライブを初期化し、用途の割り当てを行います。



初期化すると中のデータは消去されます。あらかじめ支障がないかどうか確認のうえ、この項目を実行してください。

1

Web ブラウザを起動します。ご自分の環境に合ったタイプ別に URL を入力し、< Enter > キーを押します。(タイプは、P14 でご確認ください。)

タイプ A の場合

・ URL の入力方法 `http://yfs-cd:901/`

タイプ B の場合

・ URL の入力方法 `http://Step 1 で確認した IP アドレス:901/`

タイプ C の場合

・ URL の入力方法 `http://192.168.0.250:901/`

2

ユーザー名 (ユーザー ID) とパスワードを確認するダイアログが表示されます。どちらも「admin」と入力し、【OK】をクリックします。



3

【YFS Controller 特別メニュー】の画面が表示されます。

現在がメモリーモードでサーバをが動作していることを確認して【ログイン】をクリックします。

YFS Controller 特別メニュー			
現在 メモリーモード でサーバが動作しています。ディスクの初期化や割当て、検査を行うことができます。			
メモリーモードで操作できる項目	ディスクモードで操作できる項目		
ディスク設定 (1) ディスク設定 (2) ディスク検査 ログイン	ライセンスキー登録 設定管理 リスタート		
※このままメモリーモードで特別メニューにログインする場合はログインボタンをクリックしてください。	※ディスクモードで特別メニューにログインしたい場合はリスタートボタンをクリックし、リスタート (再起動) にもう一度アクセスしてください。		
アクセス状況			
ユーザー名	コンピューター名	IPアドレス	日時



ディスクモードで起動していた場合は、表示に従い【リスタート】をクリックします。

4 HD ドライブの初期化を行います。

【初期設定】 【ディスク設定（1）】を選択します。

【ディスク設定（1）】の画面が表示されます。

初期化する HD ドライブにチェックをつけ、【初期化】をクリックします。

初期設定	
▶ ディスク設定（1）	
▶ ディスク設定（2）	
▶ ライセンスキー登録	
サーバー管理	
▶ 設定管理	
▶ ディスク検査	
▶ シャットダウン	

ディスク設定（1）		
ディスクの状態		
型番	容量	状態
MAXTOR 4K080H4	78GB	済
※未:未初期化、済:初期化済		
ディスクの初期化		
チェックボックスを選択し、『初期化』をクリックしてください。		
型番	容量	
<input checked="" type="checkbox"/> MAXTOR 4K080H4	78GB	

初期化

5 確認の画面が表示されますので、【実行】をクリックします。

初期化が正常に完了すると「ディスクの状態」の【状態】欄に「済」と表示されます。

6 次に HD ドライブの用途の割り当てをします。

【ディスク設定（2）】をクリックします。

共有フォルダ（K）とバックアップ用（B1、B2）をそれぞれラジオボタンで選択し、【割当て】をクリックします。

初期設定	
▶ ディスク設定（1）	
▶ ディスク設定（2）	
▶ ライセンスキー登録	
サーバー管理	
▶ 設定管理	
▶ ディスク検査	
▶ シャットダウン	

ディスク設定（2）				
ディスクの状態				
型番	容量	状態		
MAXTOR 4K080H4	78GB			
※K:共有フォルダ、B1:_backup1、B2:_backup2				
ディスクの割当て				
ラジオボタンを選択し、『割当て』をクリックしてください。				
K	B1	B2	型番	容量
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	MAXTOR 4K080H4	78GB
※K:共有フォルダ、B1:_backup1、B2:_backup2				

割当て

データはすべて消えます。

7 確認の画面が表示されますので、【実行】をクリックします。割り当てが正常に完了すると状態欄に「K、B1、B2」が表示されます。

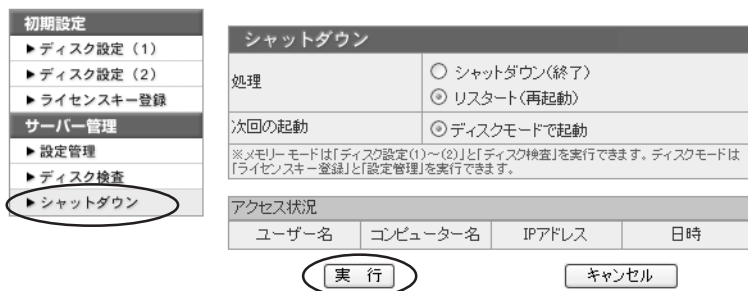


ラジオボタンは必ず K、B1、B2 の列から 1 つずつ、合計 3 つを選択してください。未選択ボタンがある場合は割り当てが正常に完了しません。

8 設定を有効にするためにリスタート（再起動）します。

【サーバー管理】 【シャットダウン】を選択します。

下図のように、処理を「リスタート（再起動）」に次回の起動を「ディスクモードで起動」を選択し、【実行】をクリックします。



9 確認の画面が表示されますので、【実行】をクリックします。



10 「実行中...」の画面が表示されます。

ピーブ音（ピーという音）が3回鳴り、リスタート（再起動）が完了したら、【再ログイン】をクリックします。

4 ライセンスキーを登録する

ライセンスキーの登録を行います。

Step 3 の手順 **10** で再ログインをされた方は、手順 **3** から行ってください。

1 web ブラウザを起動し【Step 3】と同様の手順で YFS Controller にログインします。

2 【特別メニュー】にログインする画面が表示されたら、現在がディスクモードであることを確認して、【ログイン】をクリックします。メモリーモードで起動していた場合は、表示に従い【リスタート】をクリックします。

YFS Controller 特別メニュー



初期設定

- ▶ ディスク設定 (1)
- ▶ ディスク設定 (2)
- ▶ ライセンスキー登録



サーバー管理

- ▶ 設定管理
- ▶ ディスク検査
- ▶ シャットダウン

3 【初期設定】 【ライセンスキー登録】を選択します。

4 【ライセンスキー登録】の画面が表示されます。

「ライセンスキー」を白い空欄に 6 文字ずつ入力します。

<p>初期設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ディスク設定 (1) ▶ ディスク設定 (2) ▶ ライセンスキー登録 <p>サーバー管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 設定管理 ▶ ディスク検査 ▶ シャットダウン 	<p>ライセンスキー登録</p> <p>ライセンスキー <input type="text" value="xxxxxx"/> - <input type="text" value="xxxxxx"/> ※6文字ずつ</p> <p style="text-align: center;"><input type="button" value="登録"/></p>
--	--

5 入力できたら、【登録】をクリックします。

ライセンスキーに誤りや重複がなければ、次のような画面が表示されます。

ライセンスキー登録

ご登録ありがとうございました。

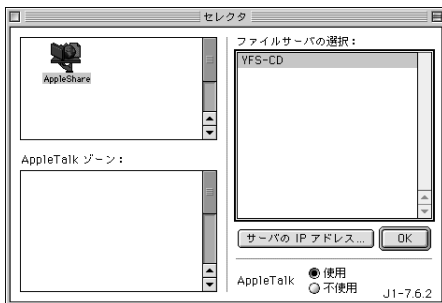
以上で登録は完了です。

クライアント（ユーザー）環境からサーバに接続してみましょう。

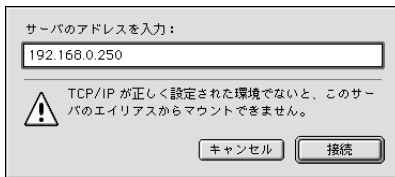
Mac OS 7.6 ~ 9.2.2 の場合

以下の手順でサーバに接続します。

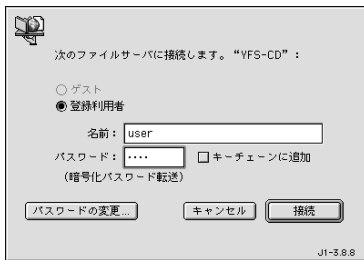
- 1** 【アップルメニュー】 【セレクト】を開きます。【AppleShare】を選択し、【ファイルサーバの選択】で「YFS-CD」を選び【OK】をクリックします。



IP アドレスで指定する場合は【サーバの IP アドレス】をクリックします。サーバの IP アドレスを「192.168.0.250」のように入力し【接続】をクリックします。



- 2** 【登録利用者】を選び、名前とパスワードにどちらも「user」と入力し【接続】をクリックします。



注意

サーバが表示されない、あるいはユーザー認証画面に進まない場合は、【Step 2】を参照し AppleTalk が有効になっているかどうか確認してください。

- 3** 使用したい共有フォルダを選択し、【OK】をクリックします。



- 4** 選択した共有フォルダがデスクトップに現れます。このフォルダにアクセスして使用します。



Mac OS X 10.1 ~ の場合

以下の手順でサーバに接続します。

- 1** 【移動メニュー】 【サーバへ接続...】を開きます。
- 2** サーバへ接続の画面が表示されます。リストから「YFS-CD」を選び【接続】をクリックします。



IPアドレスで指定する場合は、アドレスに「192.168.0.250」のように入力し【接続】をクリックします。



注意

サーバが表示されないあるいはユーザー認証画面に進まない場合は、【Step 2】を参照し AppleTalk が有効になっているかどうか確認してください。

3

【登録ユーザ】を選び、名前とパスワードにどちらも「user」と入力し【接続】をクリックします。

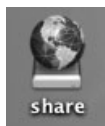


4

使用したい項目を選択し、【OK】をクリックします。



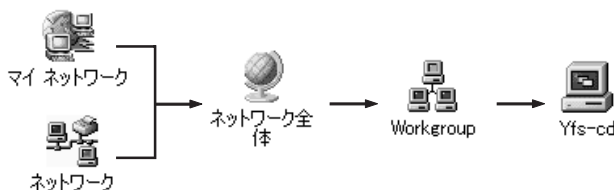
- 5** 選択したフォルダがデスクトップに現れます。フォルダにアクセスして使用します。



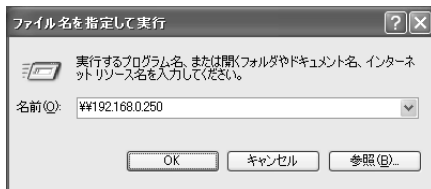
Windows の場合

- 1** デスクトップ上の【ネットワークコンピュータ】か【マイネットワーク】を開き、【ネットワーク全体】（【Microsoft Windows Network】）【Workgroup】【Yfs-cd】を開きます。

Windows XP の場合、【マイネットワーク】 【ワークグループのコンピュータを表示する】 【Yfs-cd】を開きます。



IP アドレスで指定する場合は、【スタート】 【ファイル名を指定して実行】を開き、名前に【¥¥192.168.0.250】のように入力し【OK】をクリックします。



サーバが表示されないあるいはユーザー認証画面に進まない場合は、【Step 2】を参照しファイル共有が有効になっているかどうか確認してください。

- 2** ユーザー名とパスワードを入力し、【OK】をクリックします。



- 3** サーバに設定されているコンピュータ名を開きます。ここでは「Yfs-cd」を選びます。表示されているフォルダにアクセスすることができます。



サーバのIPアドレスの初期設定は「192.168.0.250」ですが、会社や部門の既存ネットワークに導入する場合には通常このIPアドレスでは他のクライアントから接続できません。そこで既存のネットワークに導入するために以下の手順でサーバとクライアントのネットワーク設定を変更します。(タイプは、P14でご確認ください。)

タイプ A , **タイプ B** の場合 ... IP アドレスを変更する必要はありません。
P38「サーバを終了する」に進んでください。

タイプ C の場合 IP アドレスの変更を行います。次項の「IP アドレスを変更する」に進んでください。

IP アドレスを変更する

- 1 サーバー用のIPアドレス(固定)を決めます。ご自身で決められない場合はネットワーク管理者からIPアドレスを割り当ててもらってください。
ここでは、以下のように設定する場合を例に説明します。

IP アドレス : 172.16.10.10

サブネットマスク : 255.255.0.0

数値は入力例です。

- 2 Webブラウザのアドレスに、「http://192.168.0.250/」と入力し、< Enter > キーを押します。
- 3 YFS Controller にログインしたら【ネットワーク設定】 【基本設定】を選択します。
- 4 設定画面が表示されたら、それぞれの項目を入力します。
TCP/IPに【手入力】を選択します。IPアドレス、サブネットマスクに、手順 **1** で決めたIPアドレス、サブネットマスクを入力します(次ページ参照)。

ネットワーク設定	
▶ 基本設定	
▶ 詳細設定	
共有設定	
▶ ユーザー登録・設定	
▶ グループ登録・設定	
▶ フォルダー作成・設定	
デバイス設定	
▶ プリンタ	
▶ 無停電電源装置 (UPS)	
サーバー管理	
▶ データ管理	
▶ ステータス	
▶ シャットダウン	

基本設定	
サーバー名	YFS-CD <small>※半角英数15文字まで</small>
サーバーの説明	 <small>※32バイトまで</small>
ワークグループ名	WORKGROUP <small>※半角英数15文字まで</small>

TCP/IP	<input checked="" type="radio"/> 自動(DHCPサーバを参照) <input type="radio"/> 手入力
<small>『手入力』を選択した場合は、以下も設定してください。</small>	
IPアドレス	172.16.10.10
サブネットマスク	255.255.0.0
ルーターアドレス	
DNSサーバーアドレス	
WINSサーバーアドレス	
NTPサーバーアドレス	

日時	<input type="radio"/> 自動(NTPサーバを参照) <input checked="" type="radio"/> 手入力
<input type="checkbox"/> 日時を今すぐ更新	
<small>『手入力』を選択した場合は、以下も設定してください。</small>	
現在の日時	2003年11月28日15時16分

登録 / 更新

図の数値は入力例です。

- 5** 入力が完了したら【登録 / 更新】をクリックしてください。
ブラウザの進捗を表すバーは途中で止まりますが、正常です。



【Step 2】で変更したクライアントのネットワーク設定を、既存のネットワークに合わせたIPアドレスに変更します。IPアドレスをご自身で決められない場合は、ネットワーク管理者からIPアドレスを割り当ててもらってください。

2 サーバを終了する

長時間使用しない場合などには以下の手順でシステムを終了してください。

Web ブラウザを起動します。ご自分の環境に合ったタイプ別に URL を入力し、
< Enter > キーを押します。(タイプは、P14 でご確認ください。)

タイプ A の場合

・ URL の入力方法 `http:// yfs-cd /`

タイプ B の場合

・ URL の入力方法 `http:// Step 1 で確認した IP アドレス /`

タイプ C の場合

・ URL の入力方法 `http:// 192.168.0.250 /`

IP アドレスを変更している場合は変更後の IP アドレス

Windows で使用している場合は、`http:// yfs-cd /`でも接続できます。

- 2** ユーザー名 (ユーザー ID) とパスワードを確認するダイアログが表示されますので、
どちらの項目にも「admin」と入力します。
既にパスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。入力できたら【OK】をクリックします。



- 3** YFS Controller にログインしたら、【サーバー管理】 【シャットダウン】を選択します。
「処理」に【シャットダウン(終了)】を選択し、【すぐに実行】をクリックします。



サーバにキーボードを接続している場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを同時に押すことで、同様にシャットダウン (終了) することができます。毎日シャットダウンするような場合に便利です。

Chapter

3

設定メニュー

サーバの設定を Web ブラウザで行う管理ツールを「YFS Controller」といいます。YFS Controllerは「設定メニュー」と「特別メニュー」の2つで構成され、それぞれ接続方法が異なります。Chapter 3では、「設定メニュー」についての内容について説明しています。

1 設定メニューについて

サーバの名前やIPアドレスなどを設定する「ネットワーク設定」、ユーザやフォルダの管理を行う「共有設定」、無停電電源装置（UPS）の設定を行う「デバイス設定」、データの管理などを行う「サーバー管理」の大きく4つの項目で構成されます。

YFS Controller 設定メニュー



ネットワーク設定

- ▶ 基本設定
- ▶ 詳細設定



デバイス設定

- ▶ プリンタ
- ▶ 無停電電源装置 (UPS)



共有設定

- ▶ ユーザー登録・設定
- ▶ グループ登録・設定
- ▶ フォルダ作成・設定



サーバー管理

- ▶ ステータス
- ▶ データ管理
- ▶ シャットダウン

設定メニューに接続する

- 1 Web ブラウザを起動します。ご自分の環境に合ったタイプ別に URL を入力し、
< Enter > キーを押します。(タイプは、P14 でご確認ください。)

タイプ A の場合

- ・ URL の入力方法 `http://yfs-cd/`

タイプ B の場合

- ・ URL の入力方法 `http://Step 1 で確認した IP アドレス /`

タイプ C の場合

- ・ URL の入力方法 `http://192.168.0.250 /`

IP アドレスを変更している場合は変更後の IP アドレス

Windows で使用している場合は、`http://yfs-cd/` でも接続できます。

アドレス① `http://192.168.0.250/`

- 2 ユーザー名（ユーザー ID）とパスワードを確認するダイアログが表示されますので、どちらの項目にも「admin」と入力します。既にパスワードを変更している場合は変更後のパスワードを入力します。入力できたら【OK】をクリックします。



2 ネットワーク設定

基本設定

サーバー名やIPアドレス、日時などのネットワークとサーバの基本的な設定が行えます。

1 【ネットワーク設定】 【基本設定】を選択します。

2 【基本設定】の設定画面が表示されます。
必要な項目を入力できたら、【登録/更新】をクリックします。
項目の説明については、次ページを参照してください。

ネットワーク設定	
▶ 基本設定	
▶ 詳細設定	
共有設定	
▶ ユーザー登録・設定	
▶ グループ登録・設定	
▶ フォルダ作成・設定	
デバイス設定	
▶ プリンタ	
▶ 無停電電源装置 (UPS)	
サーバー管理	
▶ データ管理	
▶ ステータス	
▶ シャットダウン	

基本設定	
サーバー名	<input type="text" value="YFS-CD"/> <small>※半角英数15文字まで</small>
サーバーの説明	<input type="text"/> <small>※32バイトまで</small>
ワークグループ名	<input type="text" value="WORKGROUP"/> <small>※半角英数15文字まで</small>
TCP/IP	<input checked="" type="radio"/> 自動(DHCPサーバを参照) <input type="radio"/> 手入力
<small>『手入力』を選択した場合は、以下も設定してください。</small>	
IPアドレス	<input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text"/>
ルーターアドレス	<input type="text"/>
DNSサーバーアドレス	<input type="text"/>
WINSサーバーアドレス	<input type="text"/>
NTPサーバーアドレス	<input type="text"/>
日時	<input type="radio"/> 自動(NTPサーバを参照) <input checked="" type="radio"/> 手入力
<input type="checkbox"/> 日時を今すぐ更新	
<small>『手入力』を選択した場合は、以下も設定してください。</small>	
現在の日時	<input type="text" value="2003年11月28日17時15分"/>

サーバー名	サーバーのホスト名です。使える文字は、半角英数字の15文字までで、1文字目に数字は使用できません。
サーバーの説明	Windowsの「マイネットワーク」に表示される説明文です。この項目は入力しなくても構いません。使える文字は、半角英数字で最大32文字、漢字・ひらがなで最大16文字です。
ワークグループ名	サーバーが所属するワークグループの名称で、Windowsの「マイネットワーク」に表示されます。クライアント側のワークグループ名と同じ名称にしてください。使える文字は、半角英数字の15文字までで、1文字目に数字は使用できません。
TCP/IP	DHCPサーバーを参照する場合は「自動」を、手入力で設定する場合は「手入力」を選択してください。
以下の項目は、【TCP/IP】で「手入力」を選択した場合に設定します。	
IPアドレス	サーバーのIPアドレスを設定します。IPアドレスは、「.」で4つに区切って入力してください。使える文字は、半角数字と「.」のみです。 IPアドレスを変更すると、YFS ControllerへログインするIPアドレスも変更されますのでご注意ください。
サブネットマスク	ネットワークのサブネットマスクを設定します。サブネットマスクは、「.」で4つに区切って入力してください。使える文字は、半角数字と「.」のみです。
ルーターアドレス	別のネットワークへのルータ（デフォルトゲートウェイ）アドレスを設定します。ルータ越しにサーバーの共有フォルダにアクセスする場合のみ設定が必要です。ルーターアドレスは、「.」で4つに区切って入力してください。使える文字は、半角数字と「.」のみです。 ルーターアドレスを設定すると、詳細設定（P43を参照）が行えます。
DNSサーバーアドレス	DNSサーバーアドレスを設定します。ルータ越しにサーバーの共有フォルダにアクセスする場合のみ設定が必要です。DNSサーバーアドレスは、「.」で4つに区切って入力してください。使える文字は、半角数字と「.」のみです。
WINSサーバーアドレス	WINSサーバーアドレスを設定します。ルータ越しにサーバーの共有フォルダにアクセスする場合のみ設定が必要です。WINSサーバーアドレスは、「.」で4つに区切って入力してください。使える文字は、半角数字と「.」のみです。
NTPサーバーアドレス	日時を通知するNTPサーバーアドレスを設定します。NTPサーバーアドレスは、「.」で4つに区切って入力してください。使える文字は、半角数字と「.」のみです。 検索エンジンなどで公開されている「NTPサーバアドレス」調べてお使いください。
日時	サーバーの日時を設定します。NTPサーバーを参照する場合は「自動」を、手入力で行う場合は「手入力」を選択してください。すぐに更新する場合は「日時を今すぐ更新」のチェックボックスを選択してください。バックアップを正確に行うために、定期的に確認されることを推奨します。
以下の項目は、【日時】で「手入力」を選択した場合に設定します。	
現在の日時	現在の日時を設定します。

詳細設定

ルーター経由(別のサブネットワークやインターネットから)の接続を許可するかどうかが、ネットワークのセキュリティに関連した詳細設定が行えます。

1 【ネットワーク設定】 【詳細設定】を選択します。

2 【詳細設定】の設定画面が表示されます。

必要な項目を入力できたら、【登録/更新】をクリックします。

項目の説明については、次ページを参照してください。

ネットワーク設定	
▶ 基本設定	
▶ 詳細設定	
共有設定	
▶ ユーザー登録・設定	
▶ グループ登録・設定	
▶ フォルダ作成・設定	
デバイス設定	
▶ プリンタ	
▶ 無停電電源装置 (UPS)	
サーバー管理	
▶ データ管理	
▶ ステータス	
▶ シャットダウン	

詳細設定	
リモート接続	<input checked="" type="radio"/> 全て許可する <input type="radio"/> 全て許可しない <input type="radio"/> 個別設定
『個別設定』を選択した場合は、以下も設定してください。	
VFS Controller	<input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない
AFP	<input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない
NetBIOS	<input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない
FTP	<input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない
LPR	<input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない

登録 / 更新

リモート接続	<p>ルータ経由の接続を許可するかどうかの設定を行います。「全て許可する」「全て許可しない」「個別設定」のいずれかを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全て許可する（初期設定） すべてのサービスがルータ経由のアクセスに開放されている状態です。 ・全て許可しない ルータ経由のアクセスを一切許可しません。 ・個別設定 プロトコル毎に許可するかどうかを設定できます。
--------	--

以下の設定は、【リモート接続】で「個別設定」を選択した場合に設定します。

YFS Controller	<p>YFS Controller へのルータ経由の接続を許可するかどうかを設定します。ルータ経由でアクセスがあった場合に、この設定に従ってフィルタリングします。 「許可する」「許可しない」のいずれかを選択してください。</p>
AFP(Macintoshの共有機能)	<p>AFP サービスへのルータ経由の接続を許可するかどうかを設定します。ルータ経由でアクセスがあった場合に、この設定に従ってフィルタリングします。 「許可する」「許可しない」のいずれかを選択してください。</p>
NetBIOS (Windowsの共有機能)	<p>NetBIOS サービスへのルータ経由の接続を許可するかどうかを設定します。ルータ経由でアクセスがあった場合に、この設定に従ってフィルタリングします。 「許可する」「許可しない」のいずれかを選択してください。</p>
FTP(ファイル転送プロトコル)	<p>FTP サービスへのルータ経由の接続を許可するかどうかを設定します。ルータ経由でアクセスがあった場合に、この設定に従ってフィルタリングします。 「許可する」「許可しない」のいずれかを選択してください。</p>
LPR(プリンタ共有機能)	<p>LPR サービスへのルータ経由の接続を許可するかどうかを設定します。ルータ経由でアクセスがあった場合に、この設定に従ってフィルタリングします。 「許可する」「許可しない」のいずれかを選択してください。</p>

3 共有設定

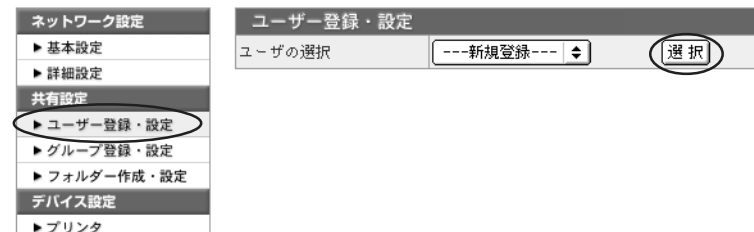
ユーザー登録・設定

サーバに接続できるユーザを新規に登録したり、その設定を変更することができます。

新規ユーザを登録する場合

1 【共有設定】 【ユーザー登録・設定】を選択します。

2 【ユーザー登録・設定画面】の設定画面が表示されます。
「ユーザの選択」で【---新規登録---】を選び、【選択】をクリックします。



3 ユーザー登録の画面が表示されます。それぞれの項目を任意に設定します。

The image shows the 'ユーザー登録・設定' (User Registration/Settings) form. It includes a 'ユーザの選択' (Select User) dropdown set to '---新規登録---' and a '選択' (Select) button. Below are input fields for 'ユーザー名' (User Name) with the value 'kobe', 'パスワード' (Password), and 'パスワード再入力' (Password Re-entry). At the bottom, there is a section for selecting a group, with 'admins' listed in the '選択候補' (Candidate Selection) box and an empty '所属グループ' (Assigned Group) box. A '登録 / 更新' (Register / Update) button is at the bottom.

図の値は入力例です。

グループの設定がされている場合は【選択候補】にグループ名が表示されます。この中から所属させたいグループを選択してください。ユーザを管理者にするには【所属グループ】に「admins」を移動します。項目の説明については、P46を参照してください。

4 設定できたら【登録 / 更新】をクリックします。

登録済のユーザを変更 / 削除する場合

- 1** 【ユーザの選択】で変更もしくは、削除したいユーザー名を選び、【選択】をクリックします。

- 2** 変更する場合は、下表の説明に従って入力や選択を行い、【登録 / 更新】をクリックします。削除する場合は【ユーザ削除】をクリックします。

ユーザの選択	ユーザの登録および設定を行う対象を選択します。新規登録を行う場合は【--新規登録--】を、設定を変更する場合は対象となるユーザを選び、【選択】をクリックします。
ユーザー名	ユーザー名を入力します。Windowsの場合は、OS にログインする時と同じユーザー名にしてください。使える文字は、半角英数字の12文字までで、1文字目に数字は使用できません。
パスワード	パスワードを入力します。Windowsの場合は、OSにログインする時と同じパスワードにしてください。使える文字は、半角英数字で最大8文字です。 パスワードの初期設定は「admin」です。変更されることをお勧めします。
パスワード再入力	確認のために再度パスワードを入力します。【パスワード】に入力したものと照合します。
選択候補 <small>(注)</small>	登録されているグループのリストです。
所属グループ <small>(注)</small>	ユーザが所属するグループのリストです。 <ul style="list-style-type: none"> ・所属グループに加える場合 【選択候補】のリストから所属させるグループを選び、【 】をクリックすると【所属グループ】のリストに加わります。 ・所属グループから抜く場合 【所属グループ】のリストから抜くグループを選び、【 】をクリックします。

(注)...【ユーザの選択】で「admin」を選んだ場合は表示されません。



注 意

「admin」は管理者ユーザーとして予約されており、パスワードの以外の変更や削除はできません。初期設定のパスワードは「admin」ですが、安全のためパスワード変更をお勧めします。

グループ登録・設定

ユーザが所属するグループを管理します。グループ単位でのアクセス管理(権限設定)ができるので運用が容易になります。グループは作成しなくても支障はありません。

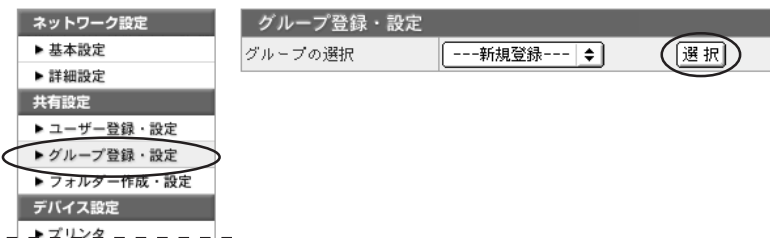


「admins」は、本製品に管理者グループとしてあらかじめ登録されており削除することはできません。

新規グループを登録する場合

1 【共有設定】 【グループ登録・設定】を選択します。

2 「グループの選択」で【---新規登録---】を選び、【選択】をクリックします。



3 それぞれの項目を任意に設定します。項目の説明については、次ページを参照してください。

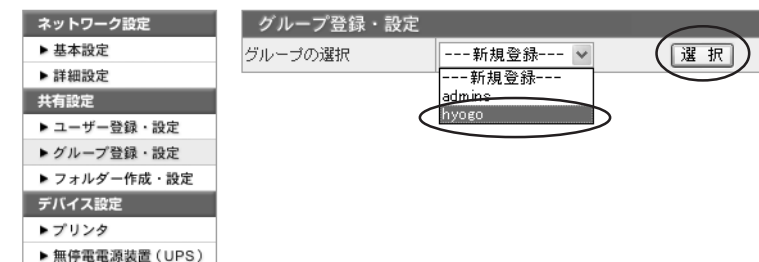
グループ登録・設定	
グループの選択	---新規登録--- <input type="button" value="選択"/>
グループ名	hyogo <small>※半角英数12文字まで</small>
所属ユーザ	
<input type="button" value="登録 / 更新"/>	

図の値は入力例です。

4 設定できたら【登録 / 更新】をクリックします。

登録済のグループを変更する場合

- 1** 「グループの選択」で、変更もしくは削除したいグループ名を選び、【選択】をクリックします。



- 2** 変更する場合は、下表の説明に従ってグループ名を変更し、【登録 / 更新】をクリックします。削除する場合は、【グループ削除】をクリックします。

グループ登録・設定	
グループの選択	hyogo <input type="button" value="選択"/>
グループ名	hyogo <small>※半角英数12文字まで ※訂正するとグループ名の変更になります。</small>
所属ユーザ	
<input type="button" value="登録 / 更新"/> <input type="button" value="グループ削除"/>	

グループの選択	グループの登録および設定を行う対象を選択します。新規登録を行う場合は【--新規登録--】を、設定を変更する場合は対象となるグループを選び、【選択】をクリックします。
グループ名	グループ名を入力してください。使用できる文字列は、半角英数字の12文字までで、1文字目に数字は使用できません。
所属ユーザ <small>(注)</small>	選択したグループに所属しているユーザー名が表示されます。

(注)...【グループの選択】で「--新規登録--」を選んだ場合、ユーザー名は表示されません。



注意

【グループ削除】をクリックすると、現在表示しているグループの設定をすべて削除します。グループを削除してもグループに所属するユーザーまでは削除されません。

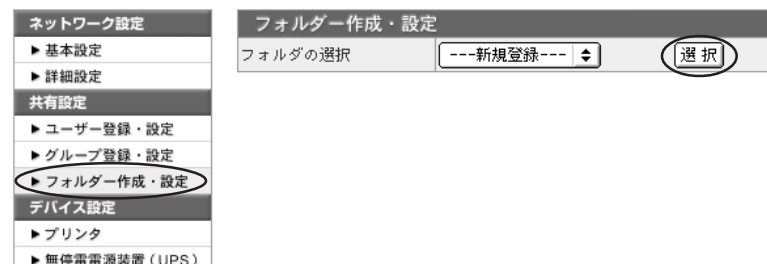
フォルダ作成・設定

共有フォルダの設定を行います。

新規フォルダを作成する場合

1 【共有設定】 【フォルダ作成・設定】を選択します。

2 「フォルダの選択」で【---新規登録---】を選び、【選択】をクリックします。



3 次ページの表の説明に従って、それぞれの項目を任意に設定します。

フォルダ作成・設定		
フォルダの選択	---新規登録---	選択
フォルダ名	public <small>※半角英数12文字まで</small>	
フォルダの説明	 <small>※32バイトまで</small>	
利用可能ユーザ/グループ	<input checked="" type="radio"/> 全ユーザ読出/書込可能 <input type="radio"/> 管理者のみ読出/書込可能 <input type="radio"/> 個別設定	
<small>※個別設定を選択した場合は、以下も設定してください。</small>		
	選択候補	
ユーザ	user kobe	読出可能 / 書込可能
グループ	hyogo	読出可能 / 書込可能
登録 / 更新		

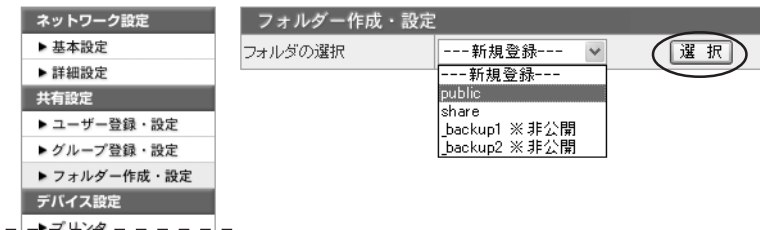
フォルダ名：public（例）
フォルダの説明：（空欄可）

4 設定できたら【登録/更新】をクリックします。

フォルダの 選択	フォルダの登録および設定を行う対象を選択します。新規登録を行う場合は【--新規登録--】を、設定を変更する場合は対象となるフォルダを選び、【選択】をクリックします。
フォルダ名	フォルダ名を入力してください。Macintoshの「セクタ」「サーバへ接続...」やWindowsの「マイネットワーク」に表示される名称です。使用できる文字列は、半角英数字の12文字までで、1文字目に数字は使用できません。
フォルダの 説明	フォルダの説明や備考などを入力します。Windowsの「マイネットワーク」で詳細表示した際に表示されます。使用できる文字は、32バイトまでです。この項目は入力しなくても構いません。
利用可能 ユーザ/グループ	<p>フォルダの利用を許可するユーザおよびグループを指定します。「全ユーザ接続/書込可能」「管理者のみ接続/書込可能」「個別設定」のいずれかを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ユーザ接続/書込可能 すべてのユーザが読み出し・書き込み共に可能な状態です。 ・管理者のみ接続/書込可能 admin(ユーザ)や admins(グループ)のみが接続可能な状態です。一般ユーザは接続できません。 ・個別設定 ユーザやグループ個別に読み出し・書き込みを許可するかどうかを設定します。
以下の項目は、【利用可能ユーザ/グループ】で「個別設定」を選択した場合に設定します。	
選択候補	利用を許可するユーザ/グループのリストです。グループを選べると、そのグループに属するすべてのユーザが一括で選択されます。
読出し可能	<p>読み出し可能なユーザおよびグループのリストです。このリストにあるユーザおよびグループに、読出許可が与えられ「読出可能」になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読出可能リストに加える(読出を許可する)場合 【選択候補】リストから読出許可を与えるユーザもしくはグループを選び、【 】をクリックすると【読出可能】リストに加わります。 ・読出可能リストから抜く(読出を不可にする)場合 【読出可能】リストから抜くグループを選び、【 】をクリックします。
書込可能	<p>書き込み可能なユーザおよびグループのリストです。このリストにあるユーザおよびグループに、書込許可が与えられ「書込可能」になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書込可能リストに加える(書込を許可する)場合 【読出可能】リストから書込許可を与えるユーザもしくはグループを選び、【 】をクリックすると【書込可能】リストに加わります。 ・書込可能リストから抜く(書込を不可にする)場合 【書込可能】リストから抜くグループを選び、【 】をクリックします。

登録済のフォルダを変更 / 削除する場合

- 1** 「フォルダの選択」で変更もしくは削除するフォルダ名を選び、【選択】をクリックします。



リストの中に「非公開」がついているものは共有していないフォルダです。「公開 / 更新」をクリックすることで再度公開し、共有することができます。

「非公開」がついていないものは共有しているフォルダです。「非公開」をクリックすることで、共有を解除できます。

- 2** 変更する場合は、P50の表の説明に従って設定し、【登録 / 更新】をクリックします。削除する場合は、【フォルダ削除】をクリックします。

フォルダ作成・設定			
フォルダの選択	public	選択	
フォルダ名	public	※半角英数12文字まで	
フォルダの説明		※32バイトまで	
利用可能ユーザ/グループ	<input checked="" type="radio"/> 全ユーザ読出/書込可能 <input type="radio"/> 管理者のみ読出/書込可能 <input type="radio"/> 個別設定		
※個別設定を選択した場合は、以下も設定してください。			
	選択候補	読出可能	書込可能
ユーザ	user		
グループ	hyogo		
登録 / 更新		非公開	フォルダ削除
		共有を解除します。 (再度共有できます)	すべて削除します。 (再度共有できません)



【フォルダ削除】をクリックすると、現在表示しているフォルダおよびフォルダ内のデータをすべて削除します。復旧することはできませんので、間違いの無いよう操作してください。【非公開】をクリックすると、フォルダおよびフォルダ内のデータをHDドライブ内に残したまま共有設定のみ解除します。再度共有することが可能です。

4 デバイス設定

プリンタ

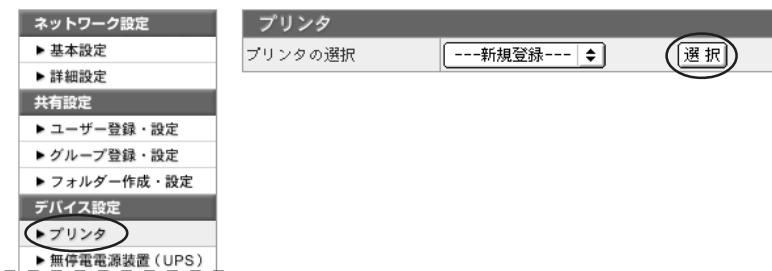
ネットワークで共有するプリンタの設定が行えます。

新規にプリンタを登録する場合

1 【デバイス設定】 【プリンタ】を選択します。

2 【プリンタ】の設定画面が表示されます。

「プリンタの選択」で「---新規登録---」を選び、【選択】をクリックします。



3 次ページの表の説明に従って、それぞれの項目を任意に設定します。

プリンタ	
プリンタの選択	--- 新規登録 ---
プリンター名	YP2000 <small>※半角英数12文字まで</small>
接続ポート	<input type="radio"/> ローカル (パラレル) <input checked="" type="radio"/> ネットワーク (TCP/IP)
『ネットワーク』を選択した場合は、以下も設定してください。	
IPアドレス	172.16.10.20
キュー名	printer
登録 / 更新	

プリンター名 : YP2000 (例)

【ネットワーク (TCP/IP)】を選択した場合は、以下の項目にも入力してください。

IP アドレス : 172.16.10.20 (例)

キュー名 : printer (例)

4 設定できたら、【登録 / 更新】をクリックします。

プリンタの選択	プリンタの登録および設定を行う対象を選択します。新規登録を行う場合は【--新規登録--】を、設定を変更する場合は対象となるプリンタを選び、【選択】をクリックします。
プリンター名	プリンタ名を入力します。Macintoshの「セレクト」や「プリントセンター」やWindowsの「マイネットワーク」に表示される名称です。使用できる文字列は、半角英数字の12文字までで、1文字目に数字は使用できません。
接続ポート	プリンタが接続されているポートを指定します。「ローカル」「ネットワーク」のいずれかを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> ローカル(パラレル) プリンタがサーバのパラレルポートに直接接続されている場合に選択します。 ネットワーク(TCP/IP) プリンタがネットワークに接続されている場合に選択します。
以下の項目は、【接続ポート】で「ネットワーク」を選択した場合に設定します。	
IPアドレス	IPアドレスを設定します。IPアドレスは、「.」で4つに区切って入力してください。使える文字は、半角数字と「.」のみです。
キュー名	プリンタの共有名を設定します。任意の文字列を入力してください。

登録済のプリンタを変更 / 削除する場合

1 【プリンタの選択】で変更もしくは削除するプリンタを選び、【選択】をクリックします。

2 変更する場合は、このページ上の表の説明に従って設定し、【登録 / 更新】をクリックします。

プリンタの登録を削除する場合は、【プリンター削除】をクリックします。
スプール(印刷待ち)データを削除する場合は、【スプール削除】をクリックします。

プリンタ	
プリンタの選択	YP2000 <input type="button" value="選 択"/>
プリンター名	YP2000 <small>※半角英数12文字まで</small>
接続ポート	<input type="radio"/> ローカル(パラレル) <input checked="" type="radio"/> ネットワーク(TCP/IP) <small>『ネットワーク』を選択した場合は、以下も設定してください。</small>
IPアドレス	172.16.10.20
キュー名	printer
<input type="button" value="登録 / 更新"/> <input type="button" value="スプール削除"/> <input type="button" value="プリンター削除"/>	

無停電電源装置 (UPS)

本製品を無停電電源装置(以下、「UPS」といいます)と組み合わせる使用することができます。以下の手順に従って設定してください。



シリアルケーブル (RS-232C) で停電信号が得られる「SimpleSignal」方式に対応しているUPSであればメーカーを問わず対応は可能です。



当社で推奨するUPSは以下のとおりです。
 本体 : APC社製 Smart-UPS シリーズ
 ケーブル : APC社製 Interface Kit A (AP940-0020)

UPSからの信号状態を確認する

停電時にUPSからの信号がどのような状態になるかを確認します。

1 UPSの電源ケーブルをコンセントに差し込み、UPSをオン(稼働状態)にします。次にシリアルケーブルでUPSとサーバを接続します。サーバの電源ケーブルはUPSのコンセントに差し込まずに別のコンセントに差し込んでください。

2 【デバイス設定】 【無停電電源装置 (UPS)】を選択します。
 【無停電電源装置(UPS)】の設定画面が表示されますので、【信号状態の確認】をクリックします。

ネットワーク設定	無停電電源装置 (UPS)
▶ 基本設定	オートシャットダウン <input type="radio"/> 設定する <input checked="" type="radio"/> 設定しない
▶ 詳細設定	『設定する』を選択した場合は、以下も設定してください。
共有設定	停電後の待機時間 <input type="text" value="2"/> 分 ※0~30分の間で設定。
▶ ユーザー登録・設定	
▶ グループ登録・設定	
▶ フォルダー作成・設定	
デバイス設定	<input checked="" type="radio"/> COM1 <input type="radio"/> COM2 <input type="radio"/> COM3 <input type="radio"/> COM4
▶ プリンタ	接続ポート
▶ 無停電電源装置 (UPS)	UPSの選択 <input type="text" value="手入力"/> ▾ 『手入力』を選択した場合は、以下も設定してください。
▶ サーバー管理	<input type="text" value="信号状態の確認"/>
▶ データ管理	UPS⇒サーバ <input type="text" value="CTS"/> ▾ が <input type="text" value="High"/> ▾ に変化 ※設定条件を停電とみなし、オートシャットダウンします。
▶ ステータス	サーバ⇒UPS RTS: <input type="text" value="Low"/> ▾ を維持 DTR: <input type="text" value="Low"/> ▾ を維持 ※UPSのマニュアルを参照し、必要に応じて設定します。
▶ シャットダウン	
	<input type="button" value="登録 / 更新"/>

- 3** 【テストするポート】を選択し（通常はCOM1）、【最新の状態に更新】をクリックします。【現在の信号状態】が表示されます。これが通電時の信号状態です。

無停電電源装置 (UPS)

信号状態の確認

テストするポート

COM1
 COM2
 COM3
 COM4

※テストは、サーバとUPSをシリアルケーブルで接続し、サーバの電源ケーブルをUPSではなく別のコンセントに接続し、オートシャットダウンを『設定しない』状態で行ってください。

現在の信号状態

DCD	DSR	CTS
Low	Low	Low

- 4** 次に、UPSの電源ケーブルをコンセントから抜き、【最新の状態に更新】をクリックします。【現在の信号状態】が表示されます。これが停電時の信号状態です。

以上の操作で通電時と停電時の信号状態の変化が分かります。確認できたら設定画面へ戻ってください。信号状態に変化がなければ、【テストするポート】を変えて、再度確認してください。

UPS を設定する

UPSを設定する場合は、【オートシャットダウン】を「設定する」にし、【接続ポート】を選択します。以下の手順で設定してください。

- 1** 次ページの表の説明に従って設定し、【登録 / 更新】をクリックします。

ネットワーク設定

- ▶ 基本設定
- ▶ 詳細設定

共有設定

- ▶ ユーザー登録・設定
- ▶ グループ登録・設定
- ▶ フォルダ作成・設定

デバイス設定

- ▶ プリンタ
- ▶ 無停電電源装置 (UPS)

サーバー管理

- ▶ データ管理
- ▶ ステータス
- ▶ シャットダウン

無停電電源装置 (UPS)

オートシャットダウン 設定する 設定しない

『設定する』を選択した場合は、以下も設定してください。

停電後の待機時間 分
※0~30分の間で設定。

接続ポート

COM1
 COM2
 COM3
 COM4

UPSの選択 ▼

『手入力』を選択した場合は、以下も設定してください。

信号状態の確認

UPS⇒サーバ
CTS: が に変化
※設定条件を停電とみなし、オートシャットダウンします。

サーバ⇒UPS
RTS: を維持
DTR: を維持
※UPSのマニュアルを参照し、必要に応じて設定します。

オートシャットダウン	UPS から停電信号を検知した場合にサーバを安全に自動停止させる機能です。この機能を使用する場合は「設定する」を、この機能を使用しない場合やUPSがない場合は「設定しない」を選択してください。
------------	--

以下の項目は、【オートシャットダウン】で「設定する」を選択した場合に設定します。

停電後の待機時間	停電信号を検知してからサーバを停止させるまでの待機時間を設定します。UPS からの給電可能容量とサーバの消費電力を考慮し、0 ~ 30 分の間で設定してください。設定した時間内に電源が復旧した時は、シャットダウン処理をキャンセルします。
----------	--

接続ポート	シリアル(RS-232C)ケーブルを接続するポートを「COM1」「COM2」「COM3」「COM4」から選択してください。通常は「COM1」を選択します(PC/AT 互換機にシリアルポートが複数ある場合は、PC/AT 互換機のマニュアルを参照してください)。
-------	---

UPSの選択	接続しているUPSを選択します。該当するUPSがメニューにない場合は「手入力」を選びます。
--------	---

以下の項目は、【UPSの選択】で「手入力」を選択した場合に設定します。

信号状態の確認	UPS からの信号状態をチェックするためのツールです(P00を参照)。
---------	-------------------------------------

UPS サーバ (UPSからの信号)	停電時に DCD / DSR / CTS のどの信号線(サーバ側)がどう変化するか(Low HighもしくはHigh Low)を指定します。UPS のマニュアルを参照するか、【信号状態の確認】で調査のうえ設定してください。
-----------------------	---

サーバ UPS (UPSへの信号)	UPS の機種によっては、特定のピンに「High」または「Low」の信号を送り続ける必要があります。UPS のマニュアルを参照のうえ設定してください。
----------------------	---



MEMO

【UPS からの信号】は、先ほど調べた信号状態の変化のとおりを設定してください。Smart-UPS の場合、停電時に CTS が Low に変化します。

【UPS への信号】はUPS のマニュアルを参照し設定してください。UPS の機種によっては特定のピンに「High」または「Low」の信号を送り続ける必要があります。Smart-UPS シリーズと Interface Kit A (AP940-0020) の組み合わせの場合は、DTR を「Low」で維持するように設定してください。

2

念のため、正しく設定できているかどうか確認します。

UPS の電源ケーブルをコンセントから抜き、【停電後の待機時間】の経過後、サーバがオートシャットダウンすれば正しく設定されています。

サーバの電源ケーブルを UPS に接続し、サーバを起動し直してください。

5 サーバー管理

データ管理

共有フォルダをバックアップフォルダに保存(ローカルコピー)することができます。また、別のFTPサーバへもファイルを転送(リモートコピー)することができます。

ローカルコピー

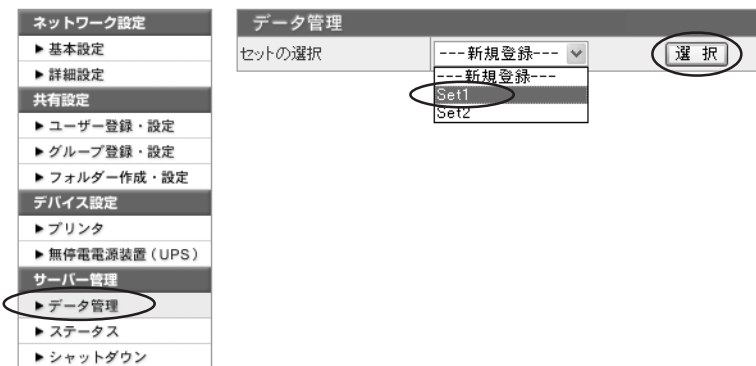
自動で共有フォルダをバックアップフォルダにローカルコピーします。ローカルコピー用のセットは[Set1]と[Set2]の2つあります。

初めて登録する場合

1 【サーバー管理】 【データ管理】を選択します。

2 【データ管理】の設定画面が表示されます。

【セットの選択】で[Set1]か[Set2]を選び、【選択】をクリックします。



【---新規登録---】はリモートコピー用のセットを登録する際に選択します。ローカルコピー用のセットは必ず[Set1]もしくは、[Set2]を選択して登録してください。

- 3** 次ページの表の説明に従って各項目を設定し、【登録 / 更新】をクリックします。

データ管理	
セットの選択	Set1 <input type="button" value="選択"/>
セット名	Set1 ※半角英数12文字まで
セットの説明	<input type="text"/> ※32バイトまで
コピー先	
フォルダ名	_backup1
コピー元を選択してください。	
選択候補	コピー元
share	share
<input type="button" value="→"/>	<input type="button" value="←"/>
コピー方式	<input checked="" type="radio"/> 追加 <input type="radio"/> 同期 <input type="checkbox"/>
オートコピー	<input type="radio"/> 設定する <input checked="" type="radio"/> 設定しない
『設定する』を選択した場合は、以下も設定してください。	
コピー間隔	<input type="radio"/> 毎日 <input type="text" value=""/> 時 <input type="text" value=""/> 分
	<input type="radio"/> 毎週 月曜日 <input type="text" value=""/> 時 <input type="text" value=""/> 分
	<input type="radio"/> 毎月 <input type="text" value=""/> 日 <input type="text" value=""/> 時 <input type="text" value=""/> 分
	<input type="radio"/> システム起動時
<input type="button" value="登録 / 更新"/> <input type="button" value="すぐに実行"/> <input type="button" value="実行履歴"/>	



【すぐに実行】をクリックすると、設定した内容で直ちにバックアップを実行します。
【実行履歴】をクリックすると、コピーの実行履歴を表示します。コピーが実行されているかどうか、エラーがでていないかなどを調べるために使用してください。

既存セットを変更する場合

- 【セットの選択】で変更したいセットを選び、【選択】をクリックします。
- 次ページの表の説明に従って各項目を設定し、【登録 / 更新】をクリックします。

セットの 選択	ローカルコピー用のセットを設定する場合は、「Set1」「Set2」のいずれかを選択し、【選択】をクリックします。「Set1」で設定したデータは「_backup1」フォルダに、「Set2」で設定したデータは「_backup2」にバックアップされます。 「---新規登録---」は、リモートコピー用のセットを登録する際に選択します。
セット名	セットの名称です。使える文字は、半角英数字の最大 12 文字までで、1 文字目に数字は使用できません。
セットの 説明	セット説明やセットの用途などを入力します。使用できる文字は、32バイトまでです。この項目は入力しなくても構いません。
フォルダ名	コピー先のフォルダを表示します。【セットの選択】で「Set1」を選択した場合は「_backup1」が、「Set2」を選択した場合は「_backup2」が表示されます。
選択候補	作成された共有フォルダのリストです。このリストからコピー元(バックアップ元)に設定するフォルダを選択します。
コピー元	コピーするフォルダ(バックアップ元)のリストです。このリストにあるフォルダは、【コピー先】に指定されたフォルダにコピー(バックアップ)されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・コピー元リストに加える(バックアップ元にする)場合 【選択候補】リストからコピーするフォルダを選び、【 】をクリックすると【コピー元】リストに加わります。 ・コピー元リストから抜く(バックアップ元から外す)場合 【コピー元】リストから抜くフォルダを選び、【 】をクリックします。
コピー方式	「追加」「同期」のいずれかのコピー方式を選択します。 どちらのコピー方式も、コピー先とコピー元に同じ名称のファイルがあり、コピー元のファイルの方が新しければ上書きします。コピー先に同じ名称のファイルがなければ追加コピーを行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・追加 ... 上書きもしくは追加コピーを行います。コピー先のみファイルが存在する場合は何もしません。 ・同期 ... コピー先をコピー元と同じ状態にします。コピー先のみ存在するファイルは、コピー実行時に削除します。 ローカルコピーの場合、コピー先のファイルの日付は「ファイルを作成した日付」がそのままコピーされます。
オートコピー	自動バックアップ(コピー)を実行する場合は「設定する」を、実行しない場合は「設定しない」を選択します。
以下の項目は、【オートコピー】で「設定する」を選択した場合に設定します。	
コピー間隔	【オートコピー】の実行時機を設定します。「毎日」「毎週」「毎月」「システム起動時」のいずれかを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・毎日 毎日、指定した時刻から開始します。 ・毎週 指定曜日の指定時刻から開始します。 ・毎月 毎月の指定日/指定時刻から開始します。 ・システム起動時 システム起動時に開始します。

リモートコピー

自動で共有フォルダを別のFTPサーバにリモートコピーします。
リモートコピー用のセットは新規作成します。

新規セットを登録する場合

1 【サーバー管理】 【データ管理】を選択します。

2 【データ管理】の設定画面が表示されます。

【セットの選択】で【--- 新規作成 ---】を選び、【選択】をクリックします。



3 P62 の表の説明に従って設定し、【登録 / 更新】をクリックします。



MEMO

【すぐ実行】をクリックすると、設定した内容で直ちにバックアップを実行します。

【実行履歴】をクリックすると、コピーの実行履歴を表示します。コピーが実行されているかどうか、エラーが出ていないかなどを調べるために使用してください。

データ管理	
セットの選択	---新規登録--- <input type="button" value="選択"/>
セット名	<input type="text"/> <small>※半角英数12文字まで</small>
セットの説明	<input type="text"/> <small>※32バイトまで</small>
コピー先を設定してください。	
IPアドレス	<input type="text"/>
ディレクトリ	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
接続方式	<input checked="" type="radio"/> PORTモード <input type="radio"/> PASVモード
コピー元を選択してください。	
選択候補	コピー元 <input type="button" value="→"/> <input type="button" value="←"/>
コピー方式	<input checked="" type="radio"/> 追加 <input type="radio"/> 同期 <input type="checkbox"/>
オートコピー	<input type="radio"/> 設定する <input checked="" type="radio"/> 設定しない
<small>『設定する』を選択した場合は、以下も設定してください。</small>	
コピー間隔	<input type="radio"/> 毎日 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 <input type="radio"/> 毎週 月曜日 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 <input type="radio"/> 毎月 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 <input type="radio"/> システム起動時
<input type="button" value="登録 / 更新"/> <input type="button" value="すぐに実行"/> <input type="button" value="実行履歴"/>	

登録済のセットを変更する場合

1 【セットの選択】で変更したいセットを選び、【選択】をクリックします。

2 次ページの表の説明に従って設定し、【登録 / 更新】をクリックします。



【すぐに実行】をクリックすると、設定した内容で直ちにバックアップを実行します。
 【実行履歴】をクリックすると、コピーの実行履歴を表示します。コピーが実行されているかどうか、エラーが出ていないかなどを調べるために使用してください。

セットの選択	新規セットを登録する場合は「---新規作成---」を、設定を変更する場合は対象のセットを選択し、【選択】をクリックします。 「Set1」「Set2」は、ローカルコピー用のセットです。
セット名	セットの名称です。使える文字は、半角英数字の12文字までで、1文字目に数字は使用できません。
セットの説明	セット説明やセットの用途などを入力します。使用できる文字は、32バイトまでです。この項目は入力しなくても構いません。
IPアドレス	コピー先のサーバのIPアドレスを入力します。
ディレクトリ	コピー先のディレクトリを入力します。 FTPルートディレクトリからのパスを入力します。
ユーザー名	コピー先のサーバにログインするためのユーザー名を入力します。
パスワード	コピー先のサーバにログインするためのパスワードを入力します。
接続方式	コピー先のサーバとの接続方式を設定します。「PORTモード」「PASVモード」のいずれかを選択してください。
選択候補	作成された共有フォルダのリストです。このリストからコピー元(バックアップ元)に設定するフォルダを選択します。
コピー元	コピーするフォルダ(バックアップ元)のリストです。このリストにあるフォルダは、コピー先の【ディレクトリ】にコピーされます。 <ul style="list-style-type: none"> ・コピー元リストに加える(バックアップ元にする)場合 【選択候補】リストからコピーするフォルダを選び、【 】をクリックすると【コピー元】リストに加わります。 ・コピー元リストから抜く(バックアップ元から外す)場合 【コピー元】リストから抜くフォルダを選び、【 】をクリックします。
コピー方式	「追加」「同期」のいずれかのコピー方式を選択します。 どちらのコピー方式も、コピー先とコピー元に同じ名称のファイルがあり、コピー元のファイルの方が新しければ上書きします。コピー先に同じ名称のファイルがなければ追加コピーを行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・追加 ... 上書きもしくは追加コピーを行います。コピー先のみファイルが存在する場合は何もしません。 ・同期 ... コピー先をコピー元と同じ状態にします。コピー先のみ存在するファイルは、コピー実行時に削除します。 <p>右下隅のチェックボックス()を選択すると、コピー元に指定したフォルダの内容だけをコピーします。 リモートコピーの場合、コピー先のファイルの日付は「コピーを実行した日付」が記録されます。</p>
オートコピー	自動バックアップ(コピー)を実行する場合は「設定する」を、実行しない場合は「設定しない」を選択します。
以下の項目は、【オートコピー】で「設定する」を選択した場合に設定します。	
コピー間隔	【オートコピー】の実行時機を設定します。「毎日」「毎週」「毎月」「システム起動時」のいずれかを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・毎日 毎日、指定した時刻から開始します。 ・毎週 指定曜日の指定時刻から開始します。 ・毎月 毎月の指定日/指定時刻から開始します。 ・システム起動時 システム起動時に開始します。

ステータス

サーバーの現在の使用状況を表示します。

1 【サーバー管理】 【ステータス】を選択します。

2 【ステータス】の画面が表示されます。現在の使用状況を確認してください。

ネットワーク設定	ステータス			
▶ 基本設定	アクセス状況			
▶ 詳細設定	ユーザー名	コンピューター名	IPアドレス	日時
共有設定	user	---(mac)	172.16.81.90	11/28 17:41
▶ ユーザー登録・設定	CPU使用状況			
▶ グループ登録・設定	使用率	負荷率		
▶ フォルダ作成・設定	平均	1分平均	5分平均	15分平均
デバイス設定	0.5%	6%	2%	0%
▶ プリンタ	※使用率は前回表示からの平均。			
▶ 無停電電源装置 (UPS)	メモリー使用状況			
サーバー管理	容量	使用量	空き容量	使用率
▶ データ管理	247MB	16MB	231MB	6%
▶ ステータス	ディスク使用状況			
▶ シャットダウン	容量	使用量	空き容量	使用率
	76.92GB	3.95GB	72.97GB	5%
				K B1 B2
	※K:共有フォルダ、B1: _backup1、B2: _backup2			

アクセス状況	サーバーへのアクセス状況を表示します。どのクライアント(ユーザー名/コンピューター名/IPアドレス)が接続しているのかを確認します。
CPU 使用状況	CPU の使用状況を使用率と負荷率で表示します。
メモリー使用状況	サーバーのメモリー使用状況を「容量」「使用量」「空き容量」「使用率」で表示します。 接続するクライアント数が増えると、メモリの使用量も1クライアントにつき約 1.5 ~ 2MB 程度の割合で増加します。
ディスク使用状況	サーバーのハードディスクの使用状況を「ディスク容量」「使用量」「空き容量」「使用率」で表示します。

シャットダウン

サーバのシャットダウン（終了）およびリスタート（再起動）を行います。

1 【サーバー管理】 【シャットダウン】を選択します。

The screenshot shows a web-based server management interface. On the left is a sidebar menu with categories: ネットワーク設定, 共有設定, デバイス設定, and サーバー管理. Under 'サーバー管理', 'シャットダウン' is highlighted with a red circle. The main content area is titled 'シャットダウン' and contains several sections: '処理' (Action) with radio buttons for 'シャットダウン（終了）' (selected) and 'リスタート（再起動）'; a checkbox for '次回起動時にディスクの検査を実行'; 'オートシャットダウン' (Auto Shutdown) with radio buttons for '設定する' and '設定しない' (selected); a note '『設定する』を選択した場合は、以下も設定してください。'; 'シャットダウン周期' (Shutdown Cycle) with radio buttons for '毎日' (Daily) and '毎週' (Weekly), and input fields for time and date; and 'アクセス状況' (Access Status) table with columns for 'ユーザー名', 'コンピューター名', 'IPアドレス', and '日時'. At the bottom are buttons for '登録 / 更新' and 'すぐに実行'.

2 次ページの説明に従って設定し、【登録 / 更新】または、【すぐに実行】をクリックします。



注意

【すぐに実行】をクリックすると、処理で選択したシャットダウンもしくは、リスタートが直ちに実行されます。

接続中にシャットダウン（リスタート）すると作業中のファイルを壊してしまう恐れがありますのでアクセス状況でアクセス中のユーザがいないことを確認してから【すぐに実行】をクリックしてください。



MEMO

接続中にシャットダウンすると作業中のファイルを壊してしまう恐れがありますので、確認のうえ【すぐに実行】をクリックしてください。シャットダウン（終了）が完了するとピープ音が3回します。ディスプレイを接続していない場合、その音を確認してから電源スイッチを切ってください。（オートパワーオフを設定している場合は自動的に電源が切れます。）

処理	「シャットダウン(終了)」「リスタート(再起動)」のいずれかのシャットダウン処理方法を選択します。
次回起動時にディスクの検査を実行	次回のサーバ起動時にディスクの検査を行う場合は、チェックボックスをクリックします。 ディスク検査は、30日に1回を目安に行うことをお勧めします。
オートシャットダウン	自動終了もしくは再起動を実行する場合は「設定する」を、実行しない場合は「設定しない」を選択します。
以下の項目は、【オートシャットダウン】で「設定する」を選択した場合に設定します。	
シャットダウン周期	【処理】で選んだシャットダウン処理の実行日時を設定します。「毎日」「毎週」のいずれかを選択し、実行する時刻を設定します。「毎週」を選択した場合は曜日も設定してください。
アクセス状況	サーバへのアクセス状況を表示します。どのクライアント(ユーザー名/コンピューター名/ IP アドレス)が接続しているのかを確認します。

Chapter

4

特別メニュー

サーバの設定を Web ブラウザで行う管理ツールを「YFS Controller」といいます。YFS Controllerは「設定メニュー」と「特別メニュー」の2つで構成され、それぞれ接続方法が異なります。

Chapter 4では、「特別メニュー」についての内容について説明しています。

1 特別メニューについて

本製品には「メモリーモード」と「ディスクモード」の2種類の動作モードがあります。通常は「ディスクモード」で使用し、ハードディスクの初期化等を行う場合は、「メモリーモード」で使用します。

特別メニューに接続する

- 1 Web ブラウザを起動します。ご自分の環境に合ったタイプ別に URL を入力し、< Enter > キーを押します。(タイプは、P14 でご確認ください。)

アドレス(D)	http://192.168.0.250:901/
---------	---------------------------

タイプ A の場合

- ・ URL の入力方法 http:// yfs-cd : 901 /

タイプ B の場合

- ・ URL の入力方法 http:// Step 1 で確認した IP アドレス : 901 /

タイプ C の場合

- ・ URL の入力方法 http://192.168.0.250 : 901 /
IP アドレスを変更している場合は変更後の IP アドレス

Windows で使用している場合は、http://yfs-cd : 901 / でも接続できます。

- 2 下図のようなダイアログが表示されます。

ユーザ名に「admin」、パスワードに設定したパスワードを入力し、【OK】をクリックします。



ユーザ名「admin」の初期設定のパスワードは「admin」です。

- 3 【特別メニュー】にログインする画面が表示されます。現在のモードを確認してください。(次ページへ続く)

メモリーモードの場合

YFS Controller 特別メニュー	
現在、メモリーモードでサーバが動作しています。ディスクの初期化や割当て、検査を行うことができます。	
メモリーモードで操作できる項目	ディスクモードで操作できる項目
ディスク設定(1) ディスク設定(2) ディスク検査	ライセンスキー登録 設定管理
<input type="button" value="ログイン"/>	<input type="button" value="リスタート"/>
※このままメモリーモードで特別メニューにログインする場合は「ログイン」をクリックしてください。	※ディスクモードで特別メニューにログインした場合は「リスタート」をクリックし、リスタート(再起動)後にもう一度アクセスしてください。

アクセス状況			
ユーザー名	コンピューター名	IPアドレス	日時

このモードは、HDドライブを使わずにメモリー上にシステムを展開するため「メモリーモード」と呼びます。HDドライブの初期化などを行う場合にこのモードで起動します。

未初期化のHDドライブが接続されている場合には自動的にメモリーモードで起動します。

起動時にピーブ音が5回鳴った場合はメモリーモードで起動したことを示します。

ディスクモードの場合

YFS Controller 特別メニュー	
現在、ディスクモードでサーバが動作しています。ライセンスキーの登録や設定内容の管理を行うことができます。	
ディスクモードで操作できる項目	メモリーモードで操作できる項目
ライセンスキー登録 設定管理	ディスク設定(1) ディスク設定(2) ディスク検査
<input type="button" value="ログイン"/>	<input type="button" value="リスタート"/>
※このままディスクモードで特別メニューにログインする場合は「ログイン」をクリックしてください。	※メモリーモードで特別メニューにログインした場合は「リスタート」をクリックし、リスタート(再起動)後にもう一度アクセスしてください。

アクセス状況			
ユーザー名	コンピューター名	IPアドレス	日時

このモードは、HDドライブ(ディスク)を使って起動するため「ディスクモード」と呼びます。通常の使用時や「特別メニュー」のライセンスキー登録、設定管理を行う場合は、このモードで起動します。

起動時にピーブ音が3回鳴った場合はディスクモードで起動したことを示します。

4

現在のモードで操作する場合は、【ログイン】をクリックします。モードを切り替える場合は、表示に従い【リスタート】をクリックします。

メモリーモードの操作をする場合は、次のページへ、ディスクモードの操作をする場合はP74へ進んでください。

2 メモリーモードについて

初期設定

ディスク設定 (1)

HD ドライブ (ディスク) の初期化を行います。初期化を実行するとすべてのデータと設定が消去されます。



HD ドライブの初期化を行うと、IPアドレスは初期状態に戻り、ライセンスキーは未登録の状態になります。再度設定を行ってください。

1 【初期設定】 【ディスク設定 (1)】 を選択します。

2 「ディスクの初期化」から初期化するHDドライブを選択し、チェックボックスをクリックします。

初期設定 ▶ ディスク設定 (1) ▶ ディスク設定 (2) ▶ ライセンスキー登録 サーバー管理 ▶ 設定管理 ▶ ディスク検査 ▶ シャットダウン	ディスク設定 (1) ディスクの状態 <table border="1"><thead><tr><th>型番</th><th>容量</th><th>状態</th></tr></thead><tbody><tr><td>MAXTOR 4K080H4</td><td>78GB</td><td>済</td></tr></tbody></table> <small>※未:未初期化、済:初期化済</small> ディスクの初期化 チェックボックスを選択し、「初期化」をクリックしてください。 <table border="1"><thead><tr><th>型番</th><th>容量</th></tr></thead><tbody><tr><td><input checked="" type="checkbox"/> MAXTOR 4K080H4</td><td>78GB</td></tr></tbody></table> <p style="text-align: center;">初期化</p>	型番	容量	状態	MAXTOR 4K080H4	78GB	済	型番	容量	<input checked="" type="checkbox"/> MAXTOR 4K080H4	78GB
型番	容量	状態									
MAXTOR 4K080H4	78GB	済									
型番	容量										
<input checked="" type="checkbox"/> MAXTOR 4K080H4	78GB										

ディスクの状態	接続されているHDドライブの「型番」「容量」「状態」を表示します。状態は、初期化が済んでいるか、済んでいないかを「済」「未」で表します。
ディスクの初期化	初期化を実行するHDドライブを選択します。チェックボックスをクリックして選択してください。

3 【初期化】をクリックすると、確認画面が表示されます。確認のうえ、【実行】をクリックします。

ディスク設定 (1) ！ 確認 ディスクを初期化します。※数分~10数分かかります。 <p style="text-align: center;">実行 キャンセル</p>
--



初期化にかかる時間は容量と台数によりますが、およそ数分~10数分かかります。

ディスク設定 (2)

HD ドライブ (ディスク) の用途の割り当てを行います。実行するとすべてのデータと設定は消去されます。



HD ドライブの初期化を行うと、IPアドレスは初期状態に戻り、ライセンスキーは未登録の状態になります。再度設定を行ってください。

1

【初期設定】 【ディスク設定 (2)】を選択します。

「ディスクの割当て」でHDドライブの用途を選択します。ラジオボタンをクリックし、「K」「B1」「B2」をそれぞれ1つずつ選択します。



「K」は共有フォルダ用、「B1」は _backup1 用、「B2」は _backup2 用です。

初期設定		ディスク設定 (2)		
▶ ディスク設定 (1)		ディスクの状態		
▶ ディスク設定 (2)		型番	容量	状態
▶ ライセンスキー登録		MAXTOR 4K080H4	78GB	K B1 B2
サーバー管理		※K: 共有フォルダ, B1: _backup1, B2: _backup2		
▶ 設定管理		ディスクの割当て		
▶ ディスク検査		ラジオボタンを選択し、『割当て』をクリックしてください。		
▶ シャットダウン		K	B1	B2
		<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		型番	容量	
		MAXTOR 4K080H4	78GB	
		※K: 共有フォルダ, B1: _backup1, B2: _backup2		
		割当て		

データはすべて消えます。

ディスクの状態	接続されているHDドライブの「型番」「容量」「状態」を表示します。状態は「K」「B1」「B2」で表示され、それぞれ「共有フォルダ用」「_backup用」「_backup用」を表します。「B1」「B2」はいずれもバックアップ用です。
ディスクの割当て	HDドライブの用途を選択する項目です。ラジオボタンをクリックして選択してください。

3

【割当て】をクリックすると、確認画面が表示されます。確認のうえ、【実行】をクリックします。

ディスク設定 (2)
<div style="text-align: center;"> <p>確認</p> </div> <p>ディスクの割当てを行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 実行 キャンセル </div>

サーバー管理

ディスク検査

HDドライブ(ディスク)の検査を行います。検査は30日に1回を目安に行うことを推奨します。

1 【サーバー管理】 【ディスク検査】を選択します。

2 「ディスクの検査」から検査するHDドライブを選択し、チェックボックスをクリックします。

初期設定		ディスク検査		
▶ ディスク設定 (1)		ディスクの状態		
▶ ディスク設定 (2)		型番	容量	状態
▶ ライセンスキー登録		MAXTOR 4K080H4	78GB	未
サーバー管理		※未:未検査、済:検査済		
▶ 設定管理		ディスクの検査		
▶ ディスク検査		チェックボックスを選択し、[検査]をクリックしてください。		
▶ シャットダウン		型番	容量	
		<input checked="" type="checkbox"/> MAXTOR 4K080H4	78GB	
		検査		

ディスクの状態	接続されているHDドライブの「型番」「容量」「状態」を表示します。状態は、初期化が済んでいるか、済んでいないかを「済」「未」で表します。
ディスクの検査	検査を実行するHDドライブを選択します。チェックボックスをクリックして選択してください。

3 【検査】をクリックすると、確認画面が表示されます。確認のうえ、【実行】をクリックします。

ディスク検査	
! 確認	
ディスクを検査します。※数分~10数分かかります。	
実行	キャンセル



検査にかかる時間は容量と台数によりますが、およそ数分~10数分かかります。

シャットダウン

サーバのシャットダウンもしくはリスタートを実行します。

1 【サーバー管理】 【シャットダウン】を選択します。

2 「処理」でシャットダウンもしくは、リスタートを選択し、ラジオボタンをクリックします。

初期設定	シャットダウン
▶ ディスク設定 (1)	処理
▶ ディスク設定 (2)	○ シャットダウン(終了)
▶ ライセンスキー登録	◎ リスタート(再起動)
サーバー管理	次回の起動
▶ 設定管理	◎ ディスクモードで起動
▶ ディスク検査	※メモリーモードは「ディスク設定(1)~(2)」と「ディスク検査」を実行できます。ディスクモードは「ライセンスキー登録」と「設定管理」を実行できます。
▶ シャットダウン	アクセス状況
	ユーザー名 コンピューター名 IPアドレス 日時
	[実行]

処理	シャットダウンもしくはリスタートを選択します。 正常に完了するとピーブ音が4回鳴ります。
次回の起動	「ディスクモードで起動」が選択されています。 次回は必ずディスクモードで起動します。

3 【実行】をクリックすると、確認画面が表示されます。

シャットダウン
⚠ 確認
リスタート(再起動)します。※次回、ディスクモードで起動します。
[実行] [キャンセル]

4 確認のうえ、【実行】をクリックします。ただちにシャットダウンもしくはリスタートします。

3 ディスクモードについて

初期設定

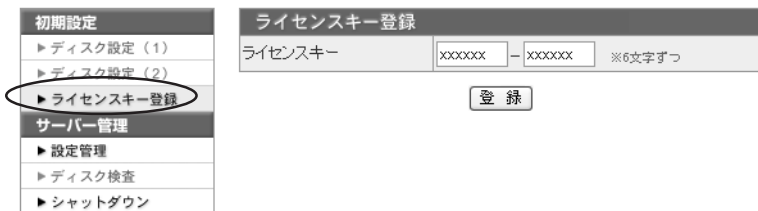
ライセンスキー登録

ライセンスキーの登録をします。登録の手順は、P30「Step 4 ライセンスキーを登録する」を参照してください。すでにライセンスキーを登録している場合は、以下の手順で確認できます。

1 【初期設定】 【ライセンスキー登録】を選択します。

2 【ライセンスキー登録】の画面が表示されます。

登録済みの「ライセンスキー」が表示されていることを確認します。



サーバー管理

設定管理

ここでは、「設定のバックアップ」「設定のリストア」「ユーザ/グループの一括登録」「設定の初期化」を行います。

【サーバー管理】 【設定管理】を選択すると、以下の画面が表示されます。それぞれの設定については、次ページ以降の手順に従ってください。

初期設定 ▶ ディスク設定 (1) ▶ ディスク設定 (2) ▶ ライセンスキー登録 サーバー管理 ▶ 設定管理 ▶ ディスク検査 ▶ シャットダウン	設定管理 設定のバックアップ <div style="text-align: right;">[実行]</div> 設定のリストア ファイル名 <input type="text"/> [参照...] <div style="text-align: right;">[実行]</div> ユーザ/グループの一括登録 ファイル名 <input type="text"/> [参照...] <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> [実行] [エラー情報] </div> 設定の初期化 チェックボックスを選択し、『初期化』をクリックしてください。 <table border="1"> <tr> <td>ネットワーク設定</td> <td> <input type="checkbox"/> 基本設定 <input type="checkbox"/> 詳細設定 </td> </tr> <tr> <td>共有設定</td> <td> <input type="checkbox"/> ユーザー登録・設定 <input type="checkbox"/> グループ登録・設定 <input type="checkbox"/> フォルダ作成・設定 <small>※データはすべて消えます。</small> </td> </tr> <tr> <td>デバイス設定</td> <td> <input type="checkbox"/> プリンタ <input type="checkbox"/> 無停電電源装置 (UPS) </td> </tr> <tr> <td>サーバー管理</td> <td> <input type="checkbox"/> データ管理 <small>※データはすべて消えます。</small> </td> </tr> </table> <div style="text-align: right;">[初期化]</div>	ネットワーク設定	<input type="checkbox"/> 基本設定 <input type="checkbox"/> 詳細設定	共有設定	<input type="checkbox"/> ユーザー登録・設定 <input type="checkbox"/> グループ登録・設定 <input type="checkbox"/> フォルダ作成・設定 <small>※データはすべて消えます。</small>	デバイス設定	<input type="checkbox"/> プリンタ <input type="checkbox"/> 無停電電源装置 (UPS)	サーバー管理	<input type="checkbox"/> データ管理 <small>※データはすべて消えます。</small>
ネットワーク設定	<input type="checkbox"/> 基本設定 <input type="checkbox"/> 詳細設定								
共有設定	<input type="checkbox"/> ユーザー登録・設定 <input type="checkbox"/> グループ登録・設定 <input type="checkbox"/> フォルダ作成・設定 <small>※データはすべて消えます。</small>								
デバイス設定	<input type="checkbox"/> プリンタ <input type="checkbox"/> 無停電電源装置 (UPS)								
サーバー管理	<input type="checkbox"/> データ管理 <small>※データはすべて消えます。</small>								

設定のバックアップ

設定のバックアップを行います。設定をバックアップしておくと万一の場合にサーバを容易に元の状態に戻す（リストア）ことができます。

1. 【実行】をクリックします。



2. 「yfsconf」というファイルが作成されます。保存のダイアログが表示されますので、場所を指定して保存します。

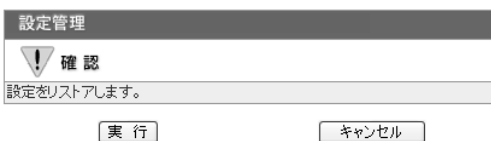
設定のリストア

バックアップした設定のリストアを行います。

1. 「参照...」をクリックし、【設定のバックアップ】で保存した「yfsconf」ファイルを選択します。



2. 【実行】をクリックすると、確認画面が表示されます。確認のうえ、【実行】をクリックします。



リストアした設定はリスタート（再起動）後に有効になります。

ユーザ/グループの一括登録

ユーザ/グループの一括登録を使えば、ユーザー管理が簡単にできます。
あらかじめ別のアプリケーションソフトでリストファイルを作成しておき、そのファイルを読み込むことで一括で登録することができます。

1. Microsoft Excelもしくはテキストエディタを起動し、ユーザ/グループのリストファイルを作成します。
2. リストは、1行につき1ユーザで、ユーザー名、パスワード、グループ名の順で作成します。テキストエディタの場合は各項目をカンマ(,)で区切ります。MS-Excelの場合は、CSV形式で保存してください。



複数グループに所属する場合は、横に続けて記入できます。

Microsoft Excel - user_group.csv

	A	B	C	D	E	F
1	to kyo	to kyo	to kyo	kanto	japan	
2	machida	machida	to kyo	kanto	japan	
3	fuchu	fuchu	to kyo	kanto	japan	
4	kobe	kobe	hyogo	kinki	japan	
5	ashiya	ashiya	hyogo	kinki	japan	
6	akashi	akashi	hyogo	kinki	japan	
7	inami	inami	hyogo	kinki	japan	
8	kyoto	kyoto	kyoto	kinki	japan	
9	mizuho	mizuho	kyoto	kinki	japan	
10	maizuru	maizuru	kyoto	kinki	japan	
11	osaka	osaka	osaka	kinki	japan	
12	sakai	sakai	osaka	kinki	japan	
13	takatsuki	takatsuki	osaka	kinki	japan	
14						

13ユーザ、7グループのリスト例

(A列はユーザー名、B列はパスワードC列～E列はグループ名)

3. 「参照...」ボタンをクリックし、手順2.で作成したリストファイルを選択します。

ユーザ/グループの一括登録

ファイル名

4. 【実行】をクリックすると、確認画面が表示されます。

設定管理

！ 確認

ユーザ/グループを一括登録します。

一括登録した設定はリスタート(再起動)後に有効になります。

設定の初期化

設定メニューの各項目を初期設定の状態に戻します。

1. 初期設定の状態に戻す（初期化する）項目を選択し、チェックボックスをクリックします。共有設定とサーバー管理の項目を初期化すると、データも消去されますのでご注意ください。

設定の初期化	
チェックボックスを選択し、『初期化』をクリックしてください。	
ネットワーク設定	<input type="checkbox"/> 基本設定 <input type="checkbox"/> 詳細設定
共有設定	<input type="checkbox"/> ユーザー登録・設定 <input type="checkbox"/> グループ登録・設定 <input type="checkbox"/> フォルダ作成・設定 <small>※データはすべて消えます。</small>
デバイス設定	<input type="checkbox"/> プリンタ <input type="checkbox"/> 無停電電源装置（UPS）
サーバー管理	<input type="checkbox"/> データ管理 <small>※データはすべて消えます。</small>

初期化

2. 【初期化】をクリックすると、確認画面が表示されます。【実行】をクリックします。

設定管理
<p> 確認</p> <p>設定を初期化します。</p>

実行

キャンセル

変更した設定内容はリスタート（再起動）後に有効になります。

シャットダウン

サーバのシャットダウンもしくは、リスタートを実行します。次回起動時のモードの選択を行います。

1 【サーバー管理】 【シャットダウン】を選択します。


2 「処理」でシャットダウンもしくは、リスタートを選択し、ラジオボタンをクリックします。

初期設定	シャットダウン			
▶ ディスク設定 (1)	処理	<input type="radio"/> シャットダウン(終了) <input checked="" type="radio"/> リスタート(再起動)		
▶ ディスク設定 (2)	次回の起動	<input type="radio"/> メモリーモードで起動 <input checked="" type="radio"/> ディスクモードで起動		
▶ ライセンスキー登録	<small>※メモリーモードは「ディスク設定(1)~(2)」と「ディスク検査」を実行できます。ディスクモードは「ライセンスキー登録」と「設定管理」を実行できます。</small>			
サーバー管理	アクセス状況			
▶ 設定管理	ユーザー名	コンピューター名	IPアドレス	日時
▶ ディスク検査	実行			
▶ シャットダウン				

処理	「シャットダウン(終了)」「リスタート(再起動)」のいずれかの処理方法を選択します。 正常に終了するとピープ音が4回鳴ります。
次回の起動	次回の起動をメモリーモードで行うか、ディスクモードで行うかを選択します。
アクセス状況	サーバへのアクセス状況を表示します。どのクライアント(ユーザー名/コンピューター名/ IPアドレス)が接続しているのかを確認します。

3 次回起動時のモードを選択します。

「次回の起動」でメモリーモードもしくはディスクモードを選択し、ラジオボタンをクリックします。【実行】をクリックすると、確認画面が表示されます。

シャットダウン
<div style="text-align: center;">  確認 </div> <small>リスタート(再起動)します。※次回、ディスクモードで起動します。</small>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 実行 キャンセル </div>

4 確認のうえ、【実行】をクリックします。ただちにシャットダウンもしくはリスタートします。

Chapter

5

付 録

Chapter 5では、本製品が正常に動作しないときのトラブルシューティングとカスタマサポートなどを案内しています。必要に応じてお読みください。

正常に動作しない場合などトラブルが発生した時は、下記のことを確認してください。

? 本製品の電源を入れても、サーバが表示されない。

サーバの起動が完了していることを確認してください。サーバの起動が完了するとピープ音が3回鳴ります。いつもより時間がかかる場合はファイルシステムのチェックをしている可能性がありますので30分程度待ってください。それでも音が鳴らない場合は、サーバマシンの異常の可能性があります。モニタとキーボードを接続して状況を確認し、カスタマサポートまでご連絡ください。

? マイネットワークに表示されない (Windows)

サーバまたはコンピュータが起動した直後はコンピュータの名前が参照できないことがあります。Windowsネットワークでは、ワークグループ内にLMB (ローカルマスターブラウザ) という管理サービスが動作しコンピュータの名前のリストを受け渡ししています。ブラウザマスタから接続したコンピュータの名前を取得できるまでに、10数分必要な場合があります。この問題を回避するためにはサーバを起動したままにすることをお勧めします。また、Windows NT / 2000 / XPから接続する場合には、【スタート】メニューから【ファイル名を指定して実行...】で「¥¥192.168.0.250」や「¥¥fs」のように指定することですぐに接続できます。

? IP アドレスを忘れてしまった (Macintosh/Windows)

サーバにモニターとキーボードを接続し電源をオンにしてください。サーバが起動したら「config」と入力し[Enter]キーを押してください。【IPアドレスの変更】でIPアドレスを確認 / 変更することができます。

カスタマサポートのご案内

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。

弊社では、「カスタマサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。

当社では、ファイルサーバが故障した場合のデータ復旧サービスは行っておりません。データのバックアップは複数の方法でこまめに行うようにしてください。

カスタマサポート専用回線

Tel. (078) 993-0010 Fax. (078) 997-6408
月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）
午前 10:00 ~ 12:00 午後 1:00 ~ 5:00

カスタマサポートの専用回線が混み合っている場合は、しばらくたってからおかけ直しいただくか、下記の電話番号あてにご連絡ください。

ヤノ電器株式会社

〒651-2242 神戸市西区井吹台東町 7-3-1 Tel. (078) 993-0007

オンライン情報提供サービスのご案内

弊社では、インターネットを利用して、よりタイムリーな製品情報を提供しています。

- ・製品情報
- ・製品に関する Q&A
- ・ドライバソフトおよびソフトウェアのアップデートサービス

Web : www.yano-el.co.jp

E-mail : info@yano-el.co.jp

YFS-CD ユーザーズマニュアル

2003年12月12日 第1版発行

発行所

ヤノ電器株式会社
神戸市西区井吹台東町 7-3-1 (〒651-2242)

YFS-CD は、ヤノ電器株式会社と有限会社キララ 21 の共同開発による製品です。

落丁乱丁本はお取り替えします。

本マニュアルに記載された製品の仕様、本マニュアルの記載内容等は予告なく変更することがあります。

Apple, Mac, Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

Microsoft, Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載された会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。



ヤノ電器株式会社
www.yano-el.co.jp